

千葉大学大学院医学研究院

千葉県寄附講座

地域医療教育学講座

成果報告書

(令和4年度～令和6年度)

令和7年4月



千葉大学

CHIBA UNIVERSITY

目次

1. 事業概要	p3
2. 実施体制	p6
3. 事業成果	p9
1. 卒前教育	p10
2. 指導者養成（地域病院）	p32
3. 地域医療に関する国際連携	p47
4. 広報活動	p51
5. 各施設での研修医・医学生の受入状況	p62
6. 千葉大学医学部地域枠入学志願者数の推移	p68
7. その他	p69
・ 早期地域体験実習を通じた地域病院アテンディングの教育に対する認識の変化（フォーカス・グループ・インタビュー）	
・ 業績（論文、学会発表）	

1. 事業概要

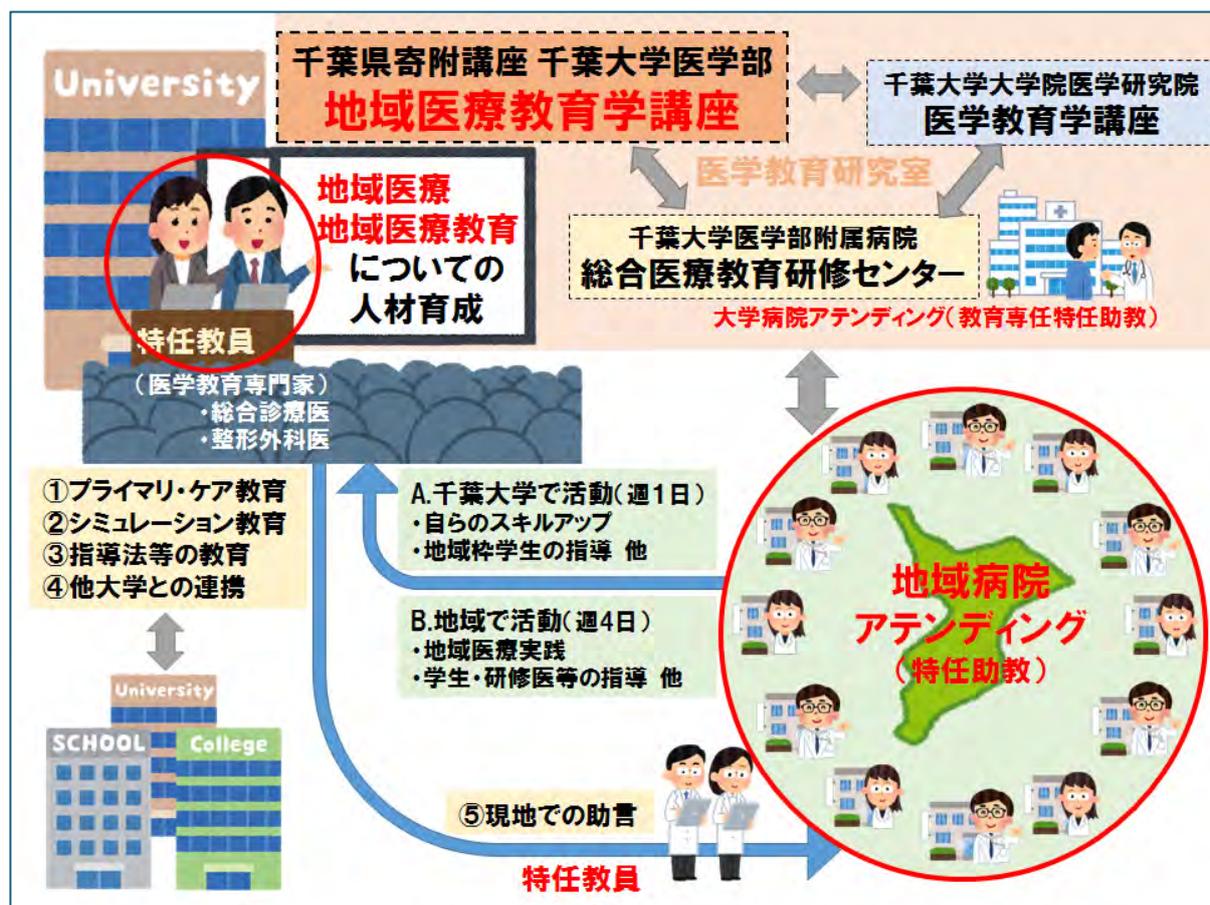
千葉県寄附講座 地域医療教育学講座について

医学生や若手医師の地域医療への関心と幅広い能力を育成するため、千葉県と千葉大学とで連携し、令和4年度から千葉県寄附講座である「地域医療教育学講座」を設置している。地域医療教育学講座では、地域医療教育として、医学生に地域で診療する能力につながる多彩な講義や実習を通じ、地域医療への関心及び幅広い診療能力を育て、また、地域病院が、臨床実習・臨床研修等を通して地域医療を学ぶ効果的な場となるように、地域病院で働く医師の指導能力向上のための教育を実施することを目的としている（図1）。

活動内容の概要は以下の通りである。

1. 地域医療に関心を持つ医学生（地域卒学生等）への支援
 - ・ 地域医療学において、地域で診療する能力につながる多彩な講義や実習を行う。
 - ・ 総合的な診療能力を獲得するための臨床実習体制やカリキュラムの構築を図る。
 - ・ 地域病院との連携を強化し、医学生（地域卒学生等）に地域医療に係る面談指導や医療機関の情報提供を行う。
 - ・ 医学生（地域卒学生等）同士の連携を強化し、長期的に地域で診療や指導を行う基盤となるネットワークを構築する。
2. 現場における地域医療の実践と指導
 - ・ 地域病院と関係を構築し、医学生（地域卒学生等）の地域で診療する能力を涵養する。また、地域病院において、医学生や研修医を指導できる人材（地域病院アテンディング）の育成を行う。
 - ・ 医師（地域卒医師等）に対して、更なる地域医療の実践を促すとともに、「地域医療研修」・「一般外来研修」・「在宅医療研修」といった臨床研修指導や地域での診療方法等の指導を行う。
3. 県内における地域医療教育ネットワークの構築・強化
 - ・ 地域における様々な医療課題を地域の病院や大学で解決していくため、大学と大学、大学と病院、病院と病院それぞれが連携して診療や人材育成を行うネットワークを構築し、強化する。
4. 地域医療に従事する医師の診療能力や指導能力の向上に関する教育の実施
 - ・ 地域病院アテンディング（特任助教等）に対して、自身の診療能力や指導能力向上のための教育を行うとともに、自らが勤務する病院の医師等に対する指導（スタッフ・ディベロップメント）についての教育を行う。
5. 地域病院における再就業支援取組の強化
 - ・ 千葉県内に移住し就労する医師、あるいは千葉県内で診療に復帰する医師に対して、地域医療に従事するためのトレーニングの場の提供を目指す。

図 1. 千葉県寄附講座 地域医療教育学講座の概略図



千葉県 HP「千葉県寄附講座／地域医療教育学講座について」より引用（最終アクセス：令和 7 年 4 月 5 日。 <https://www.pref.chiba.lg.jp/iryou/ishi/ishikakuho/kifukouza-tiikiiryou.html>）

2. 实施体制

スタッフ・協力者紹介

1. 千葉大学医学部教員

- ・ 伊藤彰一 教授（医学教育学）
- ・ 山内かづ代 特任教授（2022. 4～2025. 3）
- ・ 鋪野紀好 特任准教授（2022. 4～）
- ・ 荒木信之 特任講師（2023. 4～）
- ・ 高橋在也 特任助教（2024. 4～）
- ・ 鎌田雄 特任助教（2022. 4～2023. 3）

2. 地域病院アテンディング（図2）

- ・ 青木信也 特任助教（2022. 4～）医療法人 SHIODA 塩田病院
- ・ 勝山陽太 特任助教（2022. 4～）山武市国保さんぶの森診療所
- ・ 曾我井大地 特任助教（2022. 4～）地方独立行政法人さんむ医療センター
- ・ 宮本真衣 特任助教（2022. 4～2024. 3）いすみ医療センター
（2024. 4～2025. 3）宮本内科医院
- ・ 村山愛 特任助教（2023. 4～）君津中央病院大佐和分院
- ・ 森徳郎 特任助教（2023. 4～）大多和医院
- ・ 尾崎尚人 特任助教（2023. 4～）季美の森リハビリテーション病院
- ・ 山田悟史 非常勤講師（2023. 4～）鴨川市立国保病院
- ・ 長谷部圭亮 非常勤講師（2023. 10～）横芝光町立東陽病院
- ・ 杉田昌昭 特任助教（2023. 12～）外房こどもクリニック
- ・ 室屋洋平 特任助教（2022. 10～2023. 6）長生病院

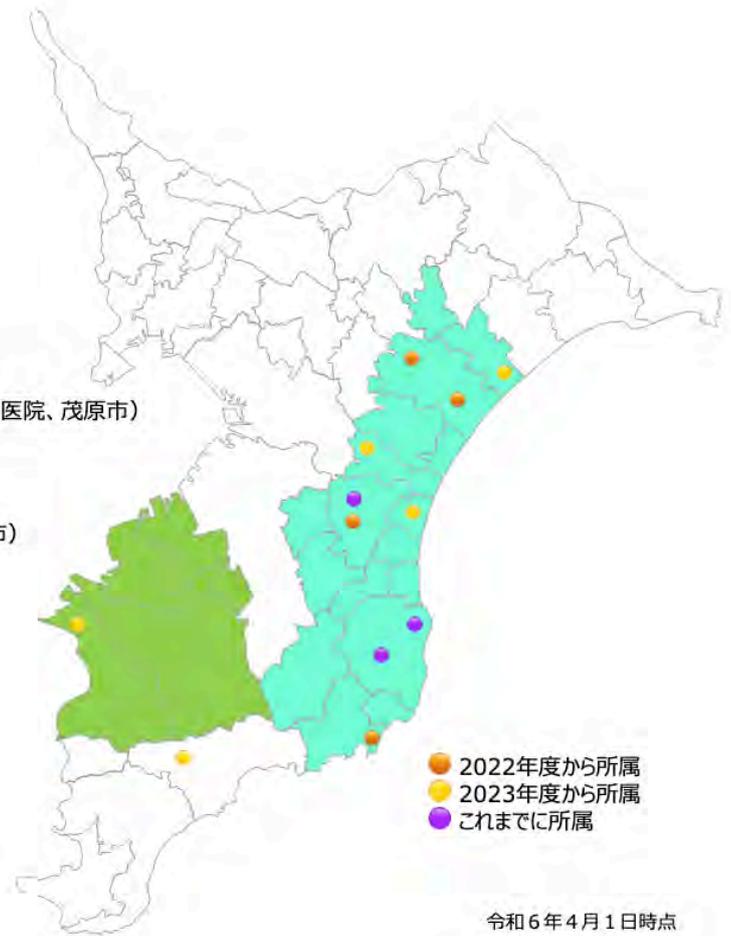
3. 事務補佐

- ・ 松本徹 事務補佐（2022. 4～）

図2. 地域病院アテンディングの配置医療機関

地域病院アテンディング

- 青木信也（塩田病院、勝浦市）
- 勝山陽太（さんぶの森診療所、さんむ市）
- 曾我井大地（さんむ医療センター、さんむ市）
- 宮本真衣（いすみ医療センター、いすみ市）（宮本内科医院、茂原市）
- 村山愛（大佐和分院、富津市）
- 森徳郎（大多和医院、長生郡）
- 尾崎尚人（季美の森リハビリテーション病院、大網白里市）
- 山田悟史（鴨川市立国保病院、鴨川市）
- 長谷部圭亮（東陽病院、山武郡横芝光町）
- 杉田昌昭（外房こどもクリニック、いすみ市）
- 室屋洋平（長生病院、茂原市）



* カラーは山武長生夷隅二次保健医療圏および君津二次保健医療圏を示す

3. 事業成果

1. 卒前教育

千葉大学医学部では、本寄附講座の設置後より、地域医療に関する教育を”6年一貫”で実施する取り組みを行っている（図3）。

図3. 千葉大学医学部における地域医療教育の概要

“6年一貫”「地域医療教育」						
	1年次	2年次	3年次	4年次	5年次	6年次
アスパイア・プロジェクト (選択/希望者)					●	●
地域臨床実習 (アドバンスト含む) (全員必修)					●	
地域志向型PBL (全員必修)				●		
夏季フィールドワーク (選択/希望者)	●	●	●	●	●	●
地域志向型シミュレーション学修 (地域枠)		●				
早期地域医療体験実習 (地域枠)	●					
地域医療学 (全員必修)	●					

1-1. 地域医療学（講義）（医学部1年次 全員必修）

目的と方略：

地域医療に対するモチベーションが高い医学部入学直後の1年次から実施し、将来医療に携わる者にとって重要な、地域医療学修のスタートアップとなる科目に位置づけている（図4、5）。本科目では、地域医療の現状と課題についての基本的知識を得たうえで、地域医療機関で見学・実習を行い、現状と課題についての理解を深めつつ、その発展と改善のための方法を考察する。第1回から第5回までの講義では、千葉県医師修学資金貸付制度と地域医療政策、家庭医療と総合診療、地域医療の仕組み（地域包括ケアシステム）、千葉県の地域病院の概説、ロールモデルとなる地域病院アテンディングの働き方等について学修する。第6回での講義（令和6年度より新設）では、その後の早期地域医療体験実習に向けてのオリエンテーションを行い、早期地域医療体験実習での学修目標の設定や実習における留意点（感染対策や医療機関での接遇など）を学修する。

令和4年度および令和5年度については、医学部1年次地域枠学生は必修、一般枠学生については希望者のみとしていたが、千葉大学医学部の使命（ミッション）とアウトカム（学修成果）の改訂にあたり（図6）、令和6年度より地域医療学（講義）は医学部1年次全員必修に拡充をしている。さらに、オンラインを活用し東邦大学医学部の千葉県医師修学資金貸付制度や地域志向性がある一般枠学生も受講した。

図4. 地域医療学の流れ（医学部1年次、通年）*



*第55回日本医学教育学会大会 一般口演スライドより引用（鋪野紀好，山内かづ代，鎌田雄，他. 地域病院アテンディングの教育活動が医学生の地域医療に関する認識に与える影響：質的研究.）

図5. 地域医療学シラバス（国立大学法人 千葉大学 シラバス）

 国立大学法人 千葉大学 シラバス検索システム	
地域医療学	
① 授業基本情報 / Course Basic Information	
使用言語 / Course Language : 日本語	
期別 / Semester Offered 通年	履修年次/ターム / Students'Year/Term to take the Course 1年・2年・3年・4年・5年 / 集中
単位数 / Credits 1.0	講義回数 / Number of Classes 10
曜日・時限・教室 / Day & Period & Class room	
集中講義 (Intensive) 集中講義 :	
開講責任部局 / Department, Division	学部 / 医学部 / 医学科
副専攻 / Minor	
副題 / Sub Title	
受入人数 / Maximum Number of Students	
受講対象 / Students for whom Course is Intended	1年次必修
授業の方法 / Course Type	講義
実務経験のある教員による授業科目 / Course by practitioner	実務経験のある教員による授業科目
メディア授業科目該当 / Online courses	対面授業科目（メディア授業実施が半数以下） / On-site courses (Half or less classes of the course are delivered online) ⚠ 「メディア授業科目」は学部学生については、卒業要件単位に含めることができる単位数に上限があります。 / For undergraduate students, there is a restriction on the number of credits earned by online courses that can be counted toward the graduation requirement.
メディア授業実施回数 / Number of online classes	0
メディア授業の種類 / Categories of online class	
メディア授業で使用するシステム / System for online class	Google Workspace / Google Workspace Zoom / Zoom
担当教員 / Instructor	
伊藤 彰一	鋪野 紀好
山内 かつ代	
荒木 信之	
講義コード / Class Code : M017350101	科目コード / Course Code : M0173501
ナンバリングコード / Numbering Code : MM081	

自 授業概要情報
/ Course Outline Information

更新日 / Date of renewal : 2024/03/22

<p>概要 / Brief Description</p>	<p>地域医療の現状と課題についての基本的知識を得たうえで、地域医療機関で見学・実習を行い、現状と課題についての理解を深めつつ、その発展と改善のための方法を考察する。発表会を通して実習経験を共有し、地域社会や地域医療についての理解を深める。将来医療に携わる者にとって重要な、地域医療学修のスタートアップとなる科目である。 ※地域枠学生は原則として全ての講義・実習に出席すること。 ※地域枠以外の学生は全ての講義に出席すること。地域医療実習、早期地域体験実習には参加できない。 ※受講条件は授業計画詳細情報の備考欄を確認のこと。</p>
<p>目標 / Goals</p>	<p>①地域医療の現状と課題について知る。 ②地域医療の発展と改善のための方法について考察する。 ③将来地域医療に携わる者として自らのキャリアをデザインし自己の向上を図る。</p> <p>コンピテンス達成レベル表は、備考欄のURLを参照のこと。</p>

<p>授業外学習 / Self Study</p>	<p>オンデマンド動画視聴・課題あり</p>
<p>キーワード / Keywords</p>	

評価方法・基準 / Evaluation Procedures and Criteria

項目	%	詳細
試験	0	
レポート	40	最終レポート
平常点評価	30	授業・実習評価（課題を含む）
その他	30	発表会の内容・パフォーマンス

<p>課題（試験やレポート等）に対するフィードバック方法 / Feedback</p>	<p>授業中の口頭でのフィードバック等</p>
<p>関連科目 / Related course</p>	
<p>履修要件 / Prerequisite</p>	<p>地域枠学生は、7月17日の地域医療実習までに必須のすべてのワクチン接種を済ませておくこと（参照：履修案内）</p>
<p>教科書 / Textbooks</p>	
<p>参考書 / Reference Books</p>	
<p>備考 / Remarks</p>	<p>単位認定のためには原則としてすべての授業（講義・実習）に参加しなければならない。正当な理由による欠席の場合は、可及的速やかにその理由を証明する資料とともに学務係に届け出ること。</p> <p>【コンピテンス達成レベル表】 (2024年度入学者～) 「千葉大学医学部HP 教育>科目別コンピテンシー」をご確認ください。</p>

授業計画詳細情報
/ Course Plan Detailed Information

第1回 (2024/05/28)

主題と位置付け(担当) / Subjects and instructor's position	時限：V 場所：第1講義室 担当教員：医学教育学／伊藤彰一、地域医療教育学／山内かつ代、鋪野紀好、荒木信之 次世代構想医療センター／吉村健佑 授業種別：講義
授業・学習方法や内容 / Methods and contents	授業内容：イントロダクション 千葉県医師修学資金貸付制度と地域医療政策 Key word：千葉県医師修学資金貸付制度
備考 / Notes	1年次全員必修

第2回 (2024/06/11)

主題と位置付け(担当) / Subjects and instructor's position	時限：V 場所：第1講義室 担当教員：医学教育学／伊藤彰一、地域医療教育学／山内かつ代、鋪野紀好、荒木信之 授業種別：講義
授業・学習方法や内容 / Methods and contents	授業内容：家庭医療と総合診療 Key word：家庭医療 総合診療
備考 / Notes	1年次全員必修

第3回 (2024/06/18)

主題と位置付け(担当) / Subjects and instructor's position	時限：V 場所：第1講義室 担当教員：医学教育学／伊藤彰一、地域医療教育学／山内かつ代、鋪野紀好、荒木信之 みつば脳神経クリニック／大木剛 授業種別：講義
授業・学習方法や内容 / Methods and contents	授業内容：地域医療のしくみ Key word：地域医療のしくみ 地域包括ケアシステム
備考 / Notes	1年次全員必修

第4回 (2024/06/25)

主題と位置付け(担当) / Subjects and instructor's position	時限：V 場所：第1講義室 担当教員：医学教育学／伊藤彰一、地域医療教育学／山内かつ代、鋪野紀好、荒木信之 地域病院アテンディング／青木信也、勝山陽太、曾我井大地、宮本真衣、村山愛、森 徳郎、尾崎尚人、山田悟史、長谷部圭亮、杉田昌昭 他 授業種別：講義
授業・学習方法や内容 / Methods and contents	授業内容：千葉県の地域病院の概説 地域医療の現場から I Key word：地域医療の現場から 地域社会 地域医療
備考 / Notes	1年次全員必修

第5回 (2024/07/02)

主題と位置付け(担当) / Subjects and instructor's position	時限：V 場所：第1講義室 担当教員：医学教育学／伊藤彰一、地域医療教育学／山内かつ代、鋪野紀好、荒木信之 地域病院アテンディング／青木信也、勝山陽太、曾我井大地、宮本真衣、村山愛、森 徳郎、尾崎尚人、山田悟史、長谷部圭亮、杉田昌昭他 授業種別：講義
--	--

授業・学習方法や内容 / Methods and contents	授業内容：千葉県地域病院の概説 地域医療の現場からII Key word：地域医療の現場から 地域社会 地域医療
備考 / Notes	1年次全員必修

第6回 (2024/07/10)

主題と位置付け(担当) / Subjects and instructor's position	時限：IV～V 場所：第1講義室 担当教員：医学教育学／伊藤彰一、地域医療教育学／山内かつ代、鋪野紀好、荒木信之 地域病院アテンディング／青木信也、勝山陽太、曾我井大地、宮本真衣、村山愛、森徳郎、尾崎尚人、山田悟史、長谷部圭亮、杉田昌昭他 授業種別：講義
授業・学習方法や内容 / Methods and contents	授業内容：地域医療実習オリエンテーション、地域医療ワークショップ Key word：地域社会 地域医療
備考 / Notes	1年次地域枠学生必修

第7回 (2024/07/17)

主題と位置付け(担当) / Subjects and instructor's position	時限：Ⅲ～Ⅴ 場所：学外実習 担当教員：医学教育学／伊藤彰一、地域医療教育学／山内かつ代、鋪野紀好、荒木信之 東千葉メディカルセンター医師 授業種別：実習
授業・学習方法や内容 / Methods and contents	授業内容：地域医療実習 Key word：地域社会 地域医療
備考 / Notes	1年次地域枠学生必修

第8回 (2024/11/26)

主題と位置付け(担当) / Subjects and instructor's position	時限：I～V 場所：学外実習 担当教員：地域病院アテンディング／青木信也、勝山陽太、曾我井大地、宮本真衣、村山愛、森徳郎、尾崎尚人、山田悟史、長谷部圭亮、杉田昌昭他 医学教育学／伊藤彰一、地域医療教育学／山内かつ代、鋪野紀好、荒木信之 授業種別：実習
授業・学習方法や内容 / Methods and contents	授業内容：早期地域体験実習（地域病院実習） Key word：地域社会 地域医療
備考 / Notes	早期地域体験実習（地域病院実習）は、割振りにしたがって、11月26日と27日のいずれかの実習に参加すること。 1年次地域枠学生必修

第9回 (2024/11/27)

主題と位置付け(担当) / Subjects and instructor's position	時限：I～V 場所：学外実習 担当教員：地域病院アテンディング／青木信也、勝山陽太、曾我井大地、宮本真衣、村山愛、森徳郎、尾崎尚人、山田悟史、長谷部圭亮、杉田昌昭他 医学教育学／伊藤彰一、地域医療教育学／山内かつ代、鋪野紀好、荒木信之 授業種別：実習
授業・学習方法や内容 / Methods and contents	授業内容：早期地域体験実習（地域病院実習） Key word：地域社会 地域医療

<p>備考 / Notes</p>	<p>早期地域体験実習（地域病院実習）は、割振りにしたがって、11月26日と27日のいずれかの実習に参加すること。 1年次地域枠学生必修</p>
<p>第10回 (2024/12/18)</p>	
<p>主題と位置付け(担当) / Subjects and instructor's position</p>	<p>時限：Ⅲ～Ⅴ 場所：第1講義室 担当教員：医学教育学／伊藤彰一、地域医療教育学／山内かづ代、鋪野紀好、荒木信之 授業種別：発表会</p>
<p>授業・学習方法や内容 / Methods and contents</p>	<p>授業内容：発表会</p>
<p>備考 / Notes</p>	<p>1年次地域枠学生必修 地域枠以外の学生は任意参加とする</p>

図6. 千葉大学医学部の使命と学習成果（令和6年度以降入学者用）



千葉大学医学部の使命（ミッション）

千葉大学医学部は、人類の健康と福祉に貢献すると共に次世代を担う有能な医療人・研究者を育成し、疾病の克服と生命現象の解明に向けて挑戦を続けます。

千葉大学医学部学生の学習成果（アウトカム）

千葉大学医学部の学生は、つねに、より高きものをめざして、千葉大学医学部の使命（ミッション）および千葉医学の理念に基づき、卒業時に以下のコンピテンシーを達成します。

I 倫理観とプロフェッショナリズム

千葉大学医学部学生は、卒業時に責任をもって医学・医療を実践するために以下の行動ができる。

1. 広い視野を持ち、豊かな人間性を涵養できる。
2. 倫理的問題を理解し、倫理的原則に基づいて行動できる。
3. 法的規範を遵守し、行動に責任を持つことができる。
4. 個人の尊厳を尊重し、心理・社会的要因と多様性を理解し、利他的、共感的、誠実、正直に対応できる。
5. チームの目標を達成するために、リーダーシップやフォロワーシップを発揮して、多職種連携を実践できる。
6. 常に自己の心身と社会的状態を評価し、良好な状態（ウェルビーイング）を保つことができる。
7. 他者に対して指導や支援を求めることができ、自らも指導や支援をすることができる。
8. 自らのキャリアをデザインし、自己主導型学習により常に自己の向上を図ることができる。

II コミュニケーション

千葉大学医学部学生は、卒業時に良好な人間関係を構築し、情報を適切に取り扱い、わかりやすく伝えるために、以下の行動ができる。

1. 個人、文化、社会的背景を踏まえて傾聴し、共感、理解、支持的態度を示し、信頼関係を築くことができる。
2. 他者やそれを取り巻く状況に配慮しながら、適切な方法で、必要な情報収集や情報伝達を行うことができる。
3. 様々なメディアを活用して適切に情報を収集し、吟味し、発信することができる。

III 医学・医療および関連領域の知識と応用

千葉大学医学部学生は、卒業時に医学・医療の基盤となっている以下の基礎、臨床、社会医学等の知識を有し、応用できる。

- | | |
|---------------|---------------|
| 1. 人体の構造と機能 | 7. 疫学、統計 |
| 2. 発達、成長、加齢、死 | 8. 保健・医療・福祉制度 |
| 3. 心理と行動 | 9. 医療関連法規 |
| 4. 病因と病態 | 10. 医療経済 |
| 5. 診断 | 11. 情報・科学技術 |
| 6. 治療、予防 | 12. 医学・医療英語 |

IV 診療の実践

千葉大学医学部学生は、卒業時に患者・生活者を尊重し、安全で質の高い診療を実施するために、以下のことが適切に実施できる。

1. 医療面接を実施できる。
2. 身体診察を実施できる。
3. 基本的臨床手技を実施できる。
4. 感染対策を実施できる。
5. 臨床推論により診断ができる。
6. 検査の必要性を判断し、検査結果を解釈できる。
7. 治療計画を提案できる。
8. 医療文書を作成できる。
9. 状況に即したプレゼンテーションができる。
10. Evidence-based medicine (EBM) を実践できる。
11. Shared decision making (SDM) を実践できる。
12. 情報・科学技術を活用した診療を必要に応じて実践できる。

V 社会と医療

千葉大学医学部学生は、卒業時に個人と社会のつながりを理解し、社会と医療の発展のために、以下のことができる。

1. 健康の社会的決定要因（Social Determinants of Health: SDH）の観点から、患者・生活者を理解できる。
2. 保健・医療・福祉に必要な資源を活用し、連携・協働ができる。
3. 患者・生活者の疾病予防・健康増進の活動を支援できる。
4. 個人の多様性を受容し、活躍することを支援できる。
5. 個人から地域・国際社会、地球環境に至るまでの保健・医療・福祉の課題を評価できる。
6. 広い視野から保健・医療・福祉の課題の改善に努めることができる。

VI 科学的探究

千葉大学医学部学生は、卒業時に常に探究心を持ち、未知・未解決の科学的問題の解決に向けて、以下のことができる。

1. 医学的発見の基礎となる科学的理論と方法論を理解できる。
2. 新しい科学的知見について、論理的・批判的な思考ができる。
3. 学術・研究活動等に参画し、自らの役割を果たすことができる。
4. 自らが関与した学術的成果を口頭および文書で発表できる。

2024/4/1 (2022改訂)

科目別の実施期間と対象者数

科目名	実施期間
地域医療学（講義）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和4年度（地域枠学生20名） 5月31日、6月14日、6月21日、6月28日、7月5日 ・ 令和5年度（地域枠学生20名） 5月30日、6月13日、6月20日、6月27日、7月4日 ・ 令和6年度（一般枠学生および地域枠学生118名） 5月28日、6月11日、6月18日、6月25日、7月2日

1-2. 地域医療学（早期地域医療体験実習）（医学部1年次、地域枠学生必修）

目的と方略：

諸外国における医師偏在の解決のための卒前教育方略によるエビデンスでも示されているように、医学部低学年における早期地域医療体験実習を導入している。早期地域医療体験実習については、千葉県における医師少数地域または医師偏在地域である山武夷隅長生や君津に安房加えた二次保健医療圏での実習を行っている。早期地域医療体験実習は、①地域枠学生全員が一同に東千葉メディカルセンター（山武夷隅長生二次保健医療圏）で行うものと（図7）、②地域病院アテンディングが所属する医療機関で行う少人数での実習（図8）の2種類を実施している。いずれの早期地域医療体験実習も、地域枠学生全員必修の実習である。早期地域医療体験実習を通じて、地域志向リーダーでありロールモデルとなる医師から効果的な教育を享受することで、地域医療の現場で良質な学びを得る。また、これまで学んだ地域医療に関する基本的な知識を活用し、地域社会の課題解決のための組織された社会的活動に適応することで、地域における役割やリーダーシップを学ぶ機会とする。さらに、早期地域医療体験実習の成果報告会では、各自の実習経験を共有し、地域社会や地域医療についての理解を深めるものとしている（図9）。

図7. 早期地域医療体験実習①の概要（東千葉メディカルセンター）



図 8. 早期地域医療体験実習②の概要（地域病院アテンディングが所属する施設）*



早期地域医療体験実習② (地域病院アテンディング施設)

事前準備



Zoom メール

実習に向けての打合せ
(学生 ⇄ 地域病院アテンディング)

- ニーズアセスメント
- 学修目標
- 課題
- 集合時間・場所
- 病院でのマナー など

早期地域体験実習



地域包括ケア



感染対策



行政（市役所）



退院支援カンファレンス



栄養指導



地域を知る

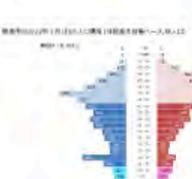
*第 55 回日本医学教育学会大会 一般口演スライドより引用（鋪野紀好，山内かつ代，鎌田雄，他. 地域病院アテンディングの教育活動が医学生の地域医療に関する認識に与える影響：質的研究.）

図 9. 早期地域医療体験実習 成果報告会での学生発表スライド（一部抜粋）



早期地域医療体験実習 成果報告会 (一部抜粋)

地域における人口



人口の二人一人が65歳以上
5人に一人が75歳以上

若者一人が高齢者一人を支える

県民総数は20人の刷新で
この地域の医療を担う
500名必要

中等症の患者を必ずカバーする
ことが医療機関としての使命

山武市役所

山武市の医療に関するレクチャー

- ・山武市の保健医療課から
- ・保健医療計画について学ぶ
- ・事前課題（健康の社会的決定要因の比較）のレビュー

→医師不足が深刻な問題であることを肌で感じた

→山武市も肥満問題を改善しようと懸命に努力していると感じた

外来見学

1. 山武市役所

- ・山武市役所にて実施する外来の見学内容
- ・山武市役所にて実施する外来の見学内容
- ・山武市役所にて実施する外来の見学内容

多職種連携



健康の社会的決定要因

地域で働く医師像

- ・ 広く深く関わることを目指す
- ・ 患者さんの状態・状況に合わせて対応する



外来診療



地域医療における役割



予防医療（ワクチン）



科目別の実施期間と対象者数

科目名	実施期間
地域医療学（早期地域医療体験実習）	1. 早期地域医療体験実習① ・ 令和4年度（地域枠学生20名） 7月20日 ・ 令和5年度（地域枠学生20名） 7月19日 ・ 令和6年度（地域枠学生20名） 7月10日（オリエンテーション）、7月17日 2. 早期地域医療体験実習② ・ 令和4年度（地域枠学生20名） 7月20日 ・ 令和5年度（地域枠学生20名） 7月19日 ・ 令和6年度（地域枠学生20名） 7月17日 3. 早期地域医療体験実習（成果報告会） ・ 令和4年度（地域枠学生20名） 12月21日 ・ 令和5年度（地域枠学生20名） 12月20日 ・ 令和6年度（地域枠学生20名） 12月18日

1-3. 地域志向型シミュレーション学修（医学部2年次、地域枠学生必修）

目的と方略：

科目「地域医療学」の中で2年次に実施する授業として設置した。科目総合的に患者・生活者をみる姿勢を涵養するため、地域課題や地域ニーズの高い複数分野を有機的に結合させ横断的に考え、地域課題に関する技能・態度を養うため、シミュレーション学修を実施している（図10）。本シミュレーション学修では、地域医療の中でも特に在宅医療に焦点をあてた内容としている。また、地域医療学講義（1年次）やオンデマンド動画と連動することで、講義で得られた基本的知識をより実践的な能力に昇華させることができる。さらに、AVシステムを活用し、状況に埋め込んだシミュレーション学修を実践した。なお、本シミュレーション学修で使用した訪問診療の教材については、地域病院アテンディングに提供依頼することで、質の高い教材を構築した（大多和医院、鴨川市立国保病院）。

図10. 地域志向型シミュレーション学修の概要*



AVシステムを用いた大画面と高性能マイク&スピーカーで高忠実度シミュレーションを体験

地域包括ケア（訪問診療）をテーマとしたシミュレーション学修

*第12回日本シミュレーション医療教育学会学術大会一般口演スライドより引用（山内かづ代，鋪野紀好，荒木信之，他. AVシステムを活用した訪問診療シミュレーションの学修効果）

科目別の実施期間と対象者数

科目名	実施期間
地域医療学（地域志向型シミュレーション学修）	・ 令和5年度（地域枠学生20名） 1月25日
	・ 令和6年度（地域枠学生20名） 1月23日

1-4. 夏季フィールドワーク（医学部全学年、任意）

目的と方略：

夏季期間を利用し、学年に問わず希望性で参加することができる夏季フィールドワークを開設した（図11、12）。夏季フィールドワークでは、地域での医療体験に加え、地域活動やサービス・ラーニングなど、多様な経験をすることができる内容とし、地域病院アテンディングが所属する施設で実施した。夏季フィールドワークには、千葉大学医学部に加え、東邦大学医学部の千葉県修学資金受給者が参加した（図13）。また、経験した内容を大学学園祭（亥鼻祭）でプロダクトとして発表することで、地域医療を志す中高生への魅力発信の機会とした（来場者 約250名）。なお、同大学学園祭では、千葉県医療整備課と連携し、中高生向けの千葉県修学資金制度の説明会を実施している。

図 1 1. 夏季フィールドワークの概要

- 夏季休暇期間を利用し、**地域医療や地域の魅力を体験**する企画
- 大学学園祭で参加医学生が**成果発表**を実施（来場者数 約250人）

夏季フィールドワーク



➤ 経験を昇華
➤ 中高大連携

大学学園祭（亥鼻祭）



*第 56 回日本医学教育学会大会 一般口演スライドより引用（荒木信之，鋪野紀好，山内かづ代，他。地域病院アテンディングによる夏季フィールドワークの医学生に与えた影響。）

夏季フィールドワーク in 千葉 2024

主催：千葉大学医学部



日程：2024年7月22日～9月30日の期間中（日程詳細は各実施施設と応相談） 内容はこちら

対象：地域医療に興味のある千葉大学医学部学生・東邦大学医学部学生（学年は問わず） <https://qr.paps.jp/pEEmh>

実施施設：千葉大学地域医療教育学地域病院アテンディングの所属している医療機関

内容：QRコードよりご確認ください










図 1 2. 夏季フィールドワーク実施施設一覧（令和 6 年度）

施設一覧					
実施施設	場所	人数	日数	内容	一言アピール
鴨川市立国保病院	鴨川市	同時に4名まで	要相談 1泊2日～4泊5日	地域を知ること・地域の暮らしに伴走する医療を患者・医師・多職種の視点から体験して学べます。 (個別に相談して研修内容・期間を調整します。)	夏の鴨川を楽しみつつ、地域医療の魅力に触れてみたい方を歓迎いたします。スタッフはみなフレンドリーですのでご安心を。
医療法人 SHIODA 塩田病院	勝浦市	同時2名まで	要相談 1日～1か月	医師の1日に同行、チームの一員として実習 低学年やニーズに合わせて多職種からの学びも行う へき地でも標準的な学びを得るオンラインレクチャーも参加	夏の勝浦は、アツイ！地域・患者との距離が近い、地域病院のリアルな医療を体験できる！リアルを知って、モチベーションを上げたい人は是非。
さんむ医療センター & さんぶの森診療所	山武市	同時に2名まで	要相談 7～9月の火曜日の基本1日体験実習	地域住民のpatient journeyを経験する 体験型地域実習 地域の魅力を知る	普段の実習とは一味違い、患者・家族目線に立って地域医療を体験できる、他ではなかなかない企画です。
大多和医院	長生郡	若干名	要相談 参加企画次第	社会事業の体験 医院併設テントカフェの運営や地域の方との対話 小学生サマースクールの企画立案・実行 NPO主催の困窮家庭の子ども達の体験キャンプなど	医学部の外、医療と地域の波打ち際まで出て、いつもの日常の外にある面白いことを僕らと探してみませんか？ここでしか経験できない企画が多数あります。
季美の森 リハビリテーション病院	大網白里市	同時に4人まで	要相談 1日	患者さんが地域で暮らすための先端リハビリ治療を体験 ・拡張現実 (VR) を用いた3次元動作解析 ・嚥下造影と嚥下調整食の美食 ・ドライビング・シミュレータ体験 など	五感を使った最新のリハビリテーション体験で、夏のささやかな非日常を楽しみましょう。 なかなかできない体験です。
宮本内科医院	茂原市	2人まで	要相談 1-2日	地域のかかりつけ病院としてどのような医療を行なっているのか体験型の実習を行う。地域にある介護施設へ訪問診療に行き、病院との連携を学ぶことが出来、在宅診療について経験できる。	診療所では患者さんとたくさん話す機会があり、コミュニケーションを学ぶ機会にもなります。地域のかかりつけ病院がどんな事をしているのかをみてみましょう！皆さんの記憶に残る地域医療体験になると思います！是非おまちしております。
君津中央病院大佐和分院	高津市	2人	9月9～10日	外来診療・訪問看護・訪問リハビリ見学、 外来リハビリ患者付き添い、入院患者さんと対話、 栄養士の食食時回診、救急車対応見学、 腹部超音波検査実習、レクチャー（事前課題含む）、 事前のニーズ調査のzoomミーティング、振り返り、 他、希望に応じて調整	君津医療圏の公立病院として、高津市の地域包括ケアと内科二次救急医療を担っています。経験した事例から、地域医療の重要な概念の理解が進むようなお手伝いをします。君津中央病院の初期研修医もいるので、一緒に学びやすいと思います。お待ちしております！
外麗こどもクリニック	いすみ市	1日1人まで	要相談(診療日：月・水・金・土 (火・木・日・祝祭日以外) 8:30～17:30)	外来見学(医師の見学だけでなく、患者さん・家族が、来院して診察を受けて帰るまでの流れを見る)	当地域では小児科医が少なく、1日150人という非常に多くの子供たちを日々診察しています。限られたマンパワーでいっただいどのように診療し、地域のニーズに応えているのか？その答えを是非是非にきてください。

図 1 3. 夏季フィールドワーク参加者
令和 5 年度

No	性別	大学	年次	実施施設	日程
1	女性	千葉大学医学部	1年次	鴨川市立国保病院 (鴨川市)	9月7-8日
2	男性	千葉大学医学部	3年次	鴨川市立国保病院 (鴨川市)	9月11-15日
3	女性	千葉大学医学部	3年次	鴨川市立国保病院 (鴨川市)	9月26-28日
4	女性	千葉大学医学部	3年次	鴨川市立国保病院 (鴨川市)	9月26-28日
5	女性	千葉大学医学部	3年次	鴨川市立国保病院 (鴨川市)	9月26-28日
6	男性	千葉大学医学部	4年次	鴨川市立国保病院 (鴨川市)	8月23-25日
7	男性	千葉大学医学部	1年次	医療法人SHIODA 塩田病院 (勝浦市)	9月12-14日
8	男性	千葉大学医学部	2年次	医療法人SHIODA 塩田病院 (勝浦市)	8月30-9月4日
9	男性	千葉大学医学部	3年次	医療法人SHIODA 塩田病院 (勝浦市)	8月7-10日
10	男性	千葉大学医学部	4年次	医療法人SHIODA 塩田病院 (勝浦市)	8月7-10日
11	女性	千葉大学医学部	1年次	地方独立行政法人さんむ医療センター & 山武市国保さんぶの森診療所 (山武市)	8月1日
12	男性	千葉大学医学部	4年次	地方独立行政法人さんむ医療センター & 山武市国保さんぶの森診療所 (山武市)	8月1日
13	女性	千葉大学医学部	1年次	大多和医院 (長生郡白子町)	8月26-27日
14	女性	東邦大学医学部	2年次	大多和医院 (長生郡白子町)	8月26-27日 9月2-3日 9月30日-10月1日
15	女性	千葉大学医学部	1年次	季美の森リハビリテーション病院 (大網白里市)	9月22日

令和6年度

No	性別	大学	年次	希望施設	日程
1	男性	千葉大学医学部	1年次	医療法人SHIODA 塩田病院 (勝浦市)	8/20
2	女性	千葉大学医学部	3年次	医療法人SHIODA 塩田病院 (勝浦市)	8/28
3	女性	東邦大学医学部	1年次	医療法人SHIODA 塩田病院 (勝浦市)	8/5
4	男性	千葉大学医学部	1年次	外房こどもクリニック (いすみ市)	7/29
5	女性	千葉大学医学部	1年次	外房こどもクリニック (いすみ市)	9/25
6	女性	千葉大学医学部	5年次	外房こどもクリニック (いすみ市)	8/19
7	女性	東邦大学医学部	2年次	外房こどもクリニック (いすみ市)	8/5
8	男性	千葉大学医学部	1年次	鶴川市立国保病院 (鶴川市)	8/29、8/30
9	男性	千葉大学医学部	1年次	季美の森リハビリテーション病院 (大網白里市)	8/27
10	女性	千葉大学医学部	1年次	季美の森リハビリテーション病院 (大網白里市)	8/21
11	男性	千葉大学医学部	1年次	季美の森リハビリテーション病院 (大網白里市)	8/27
12	男性	千葉大学医学部	1年次	季美の森リハビリテーション病院 (大網白里市)	8/21
13	男性	千葉大学医学部	5年次	季美の森リハビリテーション病院 (大網白里市)	8/5
14	男性	千葉大学医学部	5年次	季美の森リハビリテーション病院 (大網白里市)	8/5
15	男性	千葉大学医学部	1年次	宮本内科医院 (茂原市)	7/31
16	男性	千葉大学医学部	1年次	君津中央病院大佐和分院 (富津市)	9/10
17	女性	千葉大学医学部	1年次	君津中央病院大佐和分院 (富津市)	8/13
18	男性	千葉大学医学部	1年次	大多和医院 (長生郡白子町)	7/21・8/24
19	男性	千葉大学医学部	2年次	大多和医院 (長生郡白子町)	9/28
20	女性	東邦大学医学部	2年次	大多和医院 (長生郡白子町)	7/21・8/24
21	女性	東邦大学医学部	2年次	大多和医院 (長生郡白子町)	8/20・8/21
22	女性	東邦大学医学部	3年次	大多和医院 (長生郡白子町)	8/20・8/21
23	男性	東邦大学医学部	5年次	大多和医院 (長生郡白子町)	7/21・8/24
24	男性	千葉大学医学部	1年次	地方独立行政法人さんむ医療センター & 山武市国保さんぶの森診療所 (山武市)	7/30
25	女性	千葉大学医学部	1年次	地方独立行政法人さんむ医療センター & 山武市国保さんぶの森診療所 (山武市)	7/30
26	男性	千葉大学医学部	1年次	地方独立行政法人さんむ医療センター & 山武市国保さんぶの森診療所 (山武市)	8/27
27	男性	千葉大学医学部	4年次	地方独立行政法人さんむ医療センター & 山武市国保さんぶの森診療所 (山武市)	7/30
28	女性	東邦大学医学部	2年次	地方独立行政法人さんむ医療センター & 山武市国保さんぶの森診療所 (山武市)	8/13

科目別の実施期間と対象者数

科目名	実施期間
夏季フィールドワーク	<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和5年度 (一般枠および地域枠15名) 7月29日から9月30日の期間中、11月5日 (成果発表会) ・ 令和6年度 (一般枠および地域枠16名) 7月29日から9月30日の期間中、11月3日 (成果発表会)

1-5. 地域志向型 PBL (医学部4年次、全員必修)

目的と方略：

地域課題や地域ニーズの高い複数分野を有機的に結合させ横断的に考え、地域課題に関する問題解決能力を高めるため、Problem-based Learning (PBL) を実施した。本 PBL は地域医療学講義と連動することで、地域医療学講義で得られた基本的知識をより実践的な能力に昇華させることができるものとしている (図14、図15)。本 PBL の教材には、地域病院アテンディングが所属する施設に作成協力 (塩田病院) を依頼し、千葉県での地域医療の現状をより忠実に学修者に伝えることができる内容としている。

図 1 4. 地域志向型 PBL の流れ

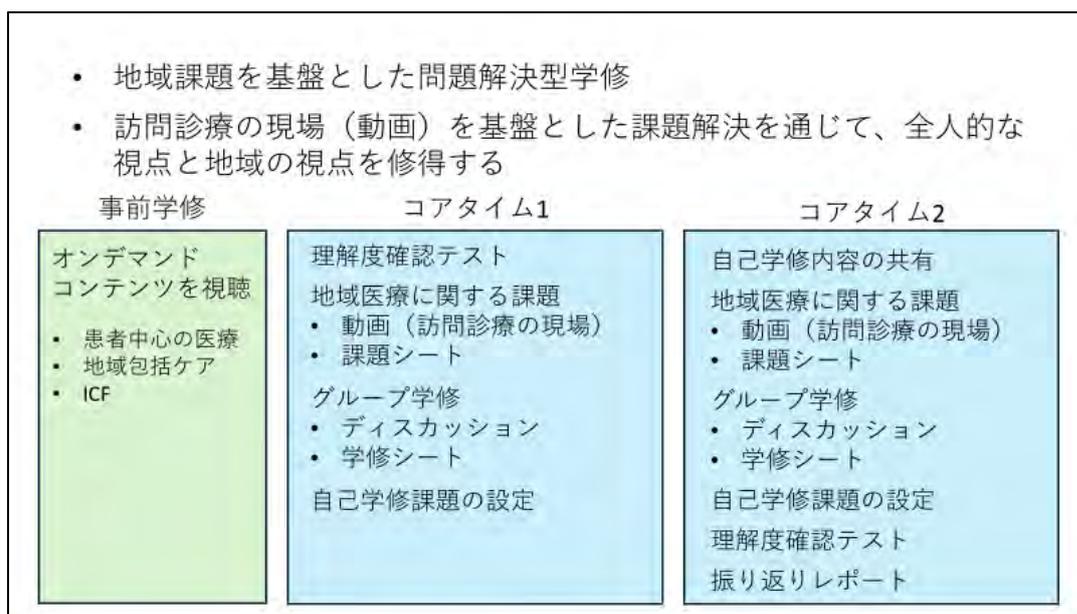


図 1 5. 地域志向型 PBL での動画教材例*



*第 56 回日本医学教育学会大会 一般口演スライドより引用（鋪野紀好，山内かつ代，荒木信之，他. 地域志向型 PBL が医学生の地域医療教育に与える影響 混合研究.）

科目別の実施期間と対象者数

科目名	実施期間
地域志向型 PBL	<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和 5 年度（医学部 4 年次、一般枠および地域枠 113 名） 10月24日、10月26日、10月31日、11月2日 ・ 令和 6 年度（医学部 4 年次、一般枠および地域枠 120 名） 10月17日、10月22日、10月24日、10月29日

1-6. 地域臨床実習（臨床実習Ⅰ）（医学部5年次、全員必修）

目的と方略：

令和6年度より新たに臨床実習Ⅰの期間に、医学部5年生全員必修とした地域臨床実習を設置した。地域臨床実習では、地域医療機関（地域病院や診療所）での3週間連続した診療参加型臨床実習を行う。本実習では地域医療における医療チームの一員として参画し、外来診療、入院診療、在宅医療、地域包括ケアシステム等で地域医療の実践を行う。実施にあたっては、地域病院アテンディングの所属する医療機関を中心に、千葉県内8二次医療圏36施設での実施を行った（表1）。対象施設については、臨床実習の受入に際してのファカルティ・ディベロップメントを行い（計8回、オンライン）、各医療機関での診療参加型臨床実習を推進した。また、各医療機関に対して地域医療教育学教員が実習内容の設計や評価方法、最新の医学教育の知見等の共有、ならびに実習に参加する医学生に対してICTを活用した指導サポート等を行い、各施設の教育に対する負担を軽減する仕組みとした。その中でも、地域臨床実習に参加する上で、事前に学生に身につけて欲しいこと、実習中に意識して欲しいこと等をまとめた「あなたの地域臨床実習を成功に導くためのTips」を作成している（図16）。本Tipsを地域臨床実習に参加する事前オリエンテーション等で再学習することで、現場での指導をより効果的・効率的にする狙いがある。

学生自身は、地域臨床実習での経験を振り返るためのリフレクションシートの作成を行なった。リフレクションシートでは、デイリーリフレクション（実習日に学んだこと、できなかったこと、今後学びたいことの自由記載）に加え、経験した症候（主要37症候）、疾患（高頻度疾患）、医行為（EPAに基づく深達度を含む）、基本的臨床手技（EPAに基づく深達度を含む）を記録する。この記録をもとに、学生はポートフォリオ作成を行うことで学びを深めるとともに、指導医へのフィードバックや地域臨床実習のプログラム改善に活用をする。

地域臨床実習での成果としては、医学教育モデル・コア・カリキュラム（令和4年度改訂版）で定める37主要症候のうち、学生一人あたりの平均経験症例数は14.9（40%）を経験することができた。また、172のコモンディジーズのうち学生一人当たりの平均経験疾患数値は20.9であった。また、医療面接・身体診察・診療録記載（22項目）は学生一人当たりの経験項目数は9.3、基本的臨床手技（28項目）は学生一人当たりの平均経験項目数は8.4であった。この結果から、地域臨床実習では、3週間と限られた期間にも関わらず、多くの症候やコモンディジーズを経験し、さらに医学生が修得すべき医行為の推進につながったことが示される。さらに、地域病院アテンディングが所属している施設では、医療面接・身体診察・診療録記載や基本的臨床手技を学生が実践する頻度が多く、その深達度も早い傾向があり、地域の場での教育人材育成の重要性が示された。

令和7年度からは、希望者に最大で9週間連続した同一施設での地域臨床実習（LIC：Longitudinal Integrated Clerkship）を行うためのプログラムである「地域医療学アドバンスト」を開講する。さらに、地域臨床実習のための施設として、千葉県内医師少数区域を中心とした地域でのリクルートを進める。

表 1. 地域臨床実習受入施設一覧（令和 6 年度）

No	施設名	二次医療圏	Aターム 9/24- 10/11	Bターム 10/15- 11/1	Cターム 11/5- 11/22	病院	診療 所	訪問 診療 のみ
0101-01	千城台クリニック	1. 千葉	○	○	○		○	
0102-01	かない内科	1. 千葉	○	○	○		○	
0103-01	ゆかりホームクリニック	1. 千葉	○	○	○			○
0104-01	千葉健生病院・まくはり診療所	1. 千葉	-	-	○	○		
0105-01	やまぶき訪問クリニック	1. 千葉	○	○	○			○
0106-01	ふたば訪問クリニック	1. 千葉	-	-	○			○
0107-01	千葉セントラルパーククリニック	1. 千葉	-	-	○		○	
0201-01	船橋二和病院	2. 東葛南部	○	○	○	○		
0202-01	市川市民診療所	2. 東葛南部	-	-	○		○	
0203-01	南浜診療所	2. 東葛南部	○	○	○		○	
0204-01	はもれびクリニック	2. 東葛南部	○	○	○			○
0205-01	ひまわりクリニック	2. 東葛南部	-	○	-		○	
0206-01	中條医院	2. 東葛南部	○	○	○		○	
0301-01	医療法人社団 鼎会三和病院	3. 東葛北部	○	○	○	○		
0401-01	みつば脳神経クリニック	4. 印旛	○	○	-		○	
0402-01	四街道まごころクリニック	4. 印旛	-	○	○			○

0403-01	東邦大学医療センター 一佐倉病院（内科グループ）	4. 印旛	○	○	○	○		
0403-02	東邦大学医療センター 一佐倉病院（小児科）	4. 印旛	○	○	○	○		
0403-03	東邦大学医療センター 一佐倉病院（外科グループ）	4. 印旛	○	○	○	○		
0403-04	東邦大学医療センター 一佐倉病院（脳神経外科）	4. 印旛	○	○	○	○		
0403-05	東邦大学医療センター 一佐倉病院（整形外科）	4. 印旛	○	○	○	○		
0403-06	東邦大学医療センター 一佐倉病院（形成外科）	4. 印旛	○	○	○	○		
0403-07	東邦大学医療センター 一佐倉病院（メンタルヘルズ クリニック）	4. 印旛	○	○	○	○		
0403-08	東邦大学医療センター 一佐倉病院（産婦人科）	4. 印旛	○	○	○	○		
0403-09	東邦大学医療センター 一佐倉病院（皮膚科）	4. 印旛	○	○	○	○		
0403-10	東邦大学医療センター 一佐倉病院（泌尿器科）	4. 印旛	○	○	○	○		
0403-11	東邦大学医療センター 一佐倉病院（眼科）	4. 印旛	○	○	○	○		
0403-12	東邦大学医療センター 一佐倉病院（耳鼻咽喉科）	4. 印旛	○	-	-	○		
0403-13	東邦大学医療センター 一佐倉病院（放射線科）	4. 印旛	○	○	○	○		
0403-14	東邦大学医療センター 一佐倉病院（麻酔科）	4. 印旛	○	○	-	○		

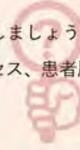
0501-01	坂本医院	5. 香取海匠	○	-	-		○	
0502-01	千葉県立佐原病院	5. 香取海匠	○	○	○	○		
0503-01	久保田整形外科クリニック	5. 香取海匠	○	○	○		○	
0601-01	さんむ医療センター	6. 山武長生 夷隅	○	○	○	○		
0602-01	さんぶの森診療所	6. 山武長生 夷隅	○	○	○		○	
0603-01	塩田病院	6. 山武長生 夷隅	○	○	○	○		
0604-01	いすみ医療センター	6. 山武長生 夷隅	○	○	○	○		
0605-01	大多和医院	6. 山武長生 夷隅	○	○	○		○	
0606-01	季美の森リハビリテーション病院	6. 山武長生 夷隅	○	○	○	○		
0607-01	横芝光町立東陽病院	6. 山武長生 夷隅	○	○	○	○		
0608-01	外房こどもクリニック	6. 山武長生 夷隅	○	○	○		○	
0609-01	宮本内科医院	6. 山武長生 夷隅	○	-	○		○	
0610-01	公立長生病院	6. 山武長生 夷隅	○	○	○	○		
0611-01	塩田記念病院	6. 山武長生 夷隅	○	○	○	○		
0612-01	あまが台ファミリークリニック	6. 山武長生 夷隅	○	○	○		○	
0701-01	鴨川市立国保病院	7. 安房	○	○	○	○		
0702-01	安房地域医療センター	7. 安房	○	○	○	○		
0703-01	鋸南病院	7. 安房	-	○	○	○		
0801-01	君津中央病院大佐和分院	8. 君津	○	○	○	○		

図 1 6. あなたの地域臨床実習を成功に導くための Tips

▶▶▶▶▶ あなたの地域臨床実習を成功に導くための Tips ◀◀◀◀◀


▶▶ 1 地域に興味を持つ

地域社会に関心を持ち、地域の文化や生活を理解しましょう。ウェブサイトからその地域の人口動態、医療アクセス、患者層についてあらかじめ調べてみましょう。



▶▶ 2 医療機関へのアクセスを確認する

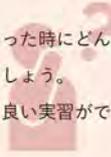
事前にどうやってアクセスするのかを確認しましょう。施設によっては前泊可能あるいは必要な施設もあります。Moodle での施設説明の確認や担当指導医にコンタクトをしましょう。

▶▶ 3 基本的な臨床技能を復習し参加する

臨床実習での学びをより効果的にするために、基本的臨床技能についても復習してから参加しましょう。特に地域で良く経験できる事項について、オンデマンドコンテンツ等も活用して学びましょう。

▶▶ 4 自分の学びたいことを持つ

地域臨床実習で何を学びたいのか、実習が終わった時にどんな自分になりたいか、事前に考えてから参加しましょう。また、そのことを指導医と共有することでより良い実習ができます。



▶▶ 5 スタッフに挨拶する

自己紹介から始め、挨拶を徹底しましょう。快活な挨拶でのコミュニケーションは重要です。

▶▶ 6 敬意を示す

患者、家族、関係する医療者や職員、同僚に敬意を持って接し、実習に臨みましょう。

▶▶ 7 接遇を守る

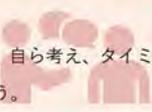
社会人としてマナー、挨拶、礼儀正しさを心掛けましょう。身だしなみを整え、実習先でのドレスコードを確認しましょう。患者や家族からはその病院の医療者としてみられます。雑談するときも休憩室に留めるなど患者情報の管理にも留意しましょう。

▶▶ 8 できないことは正直に伝える

スタッフや患者に聞かれて答えられないことやできないことは、正直に「わかりません、指導医に確認します」「すみません、まだ自分は経験がありません」と伝えましょう。自分がまだできないことを素直に伝えることは重要です。

▶▶ 9 自ら考え遠慮せず質問する

指導者に対して積極的に学びたい姿勢をみせ、自ら考え、タイミングを踏まえた上で、遠慮なく質問しましょう。



▶▶ 10 患者安全に配慮する

患者の苦痛や不安感に配慮し、患者安全を踏まえた確実に信頼されるふるまいや診療を行いましょう。

▶▶ 11 報告・連絡・相談を意識する

指導医への報告・連絡・相談はコミュニケーションの基本です。自分だけの判断にならないように、こまめに報告・連絡・相談をしましょう。

▶▶ 12 積極的に診療に参加する

自分から積極的に診療に参加しましょう。待っているだけでは臨床を経験するチャンスを逃してしまいます。自ら診療の現場での「役割」をもらいに行きましょう。

▶▶ 13 患者の前では不安を見せない

医行為について自信を持って行い、患者の前では不安を見せないようにしましょう。不安な場合は事前に指導医にしっかりと確認しましょう。

▶▶ 14 スキルを向上させる

医療面接、プレゼンテーションスキルの向上、紹介状や主治医意見書作成など、各施設で実践可能な医療スキルを磨きましょう。



▶▶ 15 全人的な視点を学ぶ

身体的な問題以外にも、心理社会的問題や生活環境など、全人的な視点を身につけましょう。

▶▶ 16 多職種との協働を経験する

医師以外の職種からも学び、多職種連携の重要性を理解し、さらには現場での協働を経験しましょう。

▶▶ 17 Evidence-based medicine (EBM) を実践する

積極的に情報検索を行い、患者のニーズに沿った最善の医療を考えましょう。

▶▶ 18 実習現場で出た疑問を解決する

臨床実習での経験を通じて出た疑問を言語化してみましょう。また、得られた疑問の解決に努めましょう。

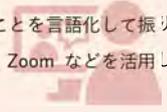
▶▶ 19 自身のケアをする

実習中に遭遇した出来事に対して心身に負担を感じた場合は、指導医など周囲に共有し、対応を相談しましょう。



▶▶ 20 振り返りをする

その日の終わりに 1 日の実習で経験したことを言語化して振り返るようにしましょう。また、大学教員と Zoom などを利用して、良い振り返りの機会にしましょう。



2024 年 5 月 12 日作成

科目別の実施期間と対象者数

科目名	実施期間
地域臨床実習（臨床実習 I）	・ 令和6年度（医学部5年次、一般枠および地域枠113名） 9月24日から10月11日、10月15日から11月1日、11月5日から11月22日

1-7. アスパイアプロジェクト（医学部6年次、全員必修：地域実習は希望者）

目的と方略：

個々の学生がアスパイアプロジェクトの8週間の活動計画を立案し、準備・実施し、振り返ることにより、医学・医療に関わるものとしての地域医療への高い情熱と好奇心の涵養ならびにプロフェッショナリズム等の向上を目的としている。同期間については地域医療に関する活動計画（地域住民への健康教育活動、フィールドワーク、地域課題の調査研究等）に関連したテーマや地域医療機関での実習など、プロジェクトベースでの参加を行う。プロジェクトについてはポートフォリオ提出ならびに成果発表会での発表を行う。

科目別の実施期間と対象者数

科目名	実施期間
アスパイアプロジェクト（地域実習、希望者）	・ 令和5年度（医学部6年次、一般枠および地域枠29名） 医学部5年次から6年次（計画から実施も含め合計8週間）

2. 指導者養成（地域病院）

地域医療に従事する医師を対象に、FD を実施している。

2-1. 千葉大学地域医療教育学 FD（地域病院アテンディング必修）

千葉大学地域医療教育学 FD では、地域病院において医学生や研修医を指導できる人材（地域病院アテンディング）の育成を行っている。

目標と方略：

地域病院と関係を構築し、医学生（地域卒学生等）の地域で診療する能力を涵養する。また、医師（地域卒医師等）に対して、更なる地域医療の実践を促すとともに、「地域医療研修」、「一般外来研修」、「在宅医療研修」といった臨床研修指導や地域での診療方法等の指導を行う能力を獲得する。FD は令和 4 年度に 44 回、令和 5 年度に 38 回、令和 6 年度に 44 回を実施し、地域病院アテンディングが卓越した教育実践力を涵養する機会とすることに留まらず、綿密なコミュニケーションにより大学、地域医療機関、加えて千葉県とのネットワーク構築に資する内容としている（表 2）。

また、3 年間の FD を通じて、地域病院アテンディングに必要な 16 の資質・能力を定めた（図 17）。その資質・能力に紐付き、地域病院アテンディングのべ 11 名に対して、16 の資質・能力の自己到達度を継続的に調査した。「地域医療の実践力」、「地域課題の発掘」、「医学教育カリキュラムの理解」、「学修者支援」、「医療制度の理解と行政連携」、「地域医療資源の理解と活用」、「教育理論、教育技法の理解」、「EBM の理解と実践」、「教育リソースのマネジメント」は参加年次が増えるについて、自己達成度が高くなる傾向があった。また、「多職種連携」、「コミュニケーション」、「プロフェッショナリズム」については、初年度から高い自己達成度が認められ、それが維持された。一方で、「働き方・タイムマネジメント」、「生涯学修」、「心理的安全性の担保」、「ICT リテラシー」、は参加年次で大きな差はなく、ばらつきも多かった。これらの項目の自己達成度を向上させるための FD を取り入れる必要がある。

表 2. 千葉大学地域医療教育学 FD の実施内容

令和 4 年度（44 回、うち対面 11 回）

実施日時	実施場所	目的・目標・実施内容	参加人数
2022/4/7 15:00-17:00	Zoom	地域病院アテンディングとの地域医療と医師偏在の課題解決に関するディスカッション	9
2022/4/14 15:00-17:00	医学系総合研究棟 310 室	地域病院アテンディングとのコンピテンシーに関するディスカッション	9
2022/4/21 15:00-17:00	Zoom	地域病院アテンディングとの地域病院アテンディングのコンピテンシーに関するディスカッション	8

2022/4/28 15:00-17:00	Zoom	地域病院アテンディングとの合意形成方法に関するディスカッション	9
2022/5/12 15:00-17:00	医学系総合研究棟グループ学習室4	地域病院アテンディングとの教育実践に関するディスカッション	8
2022/5/19 16:30-18:30	Zoom	地域病院アテンディングとの学修者評価に関するディスカッション	9
2022/5/26 15:00-17:00	Zoom	地域病院アテンディングとの地域医療での教育実践に関するディスカッション	8
2022/6/2 15:00-17:00	Zoom	地域病院アテンディングとの教育実践に関するディスカッション	7
2022/6/9 15:00-17:00	医学系総合研究棟グループ学習室4	地域病院アテンディングとのマイクロティーチングに関するディスカッション	8
2022/6/16 16:30-18:30	Zoom	地域病院アテンディングとの ICT を用いた教育に関するディスカッション	9
2022/6/23 16:30-18:30	Zoom	地域病院アテンディングとの教育実践（地域医療学講義）に関するディスカッション	9
2022/7/7 15:00-17:00	Zoom	地域病院アテンディングとの教育実践に関する振り返り	9
2022/7/14 15:00-17:00	医学系総合研究棟グループ学習室4	地域病院アテンディングとのディブリーフィングに関する教育実践	9
2022/7/21 16:30-18:30	Zoom	地域病院アテンディングとの修学資金生に対するキャリア支援に関するディスカッション	8
2022/7/28 15:00-17:00	Zoom	地域病院アテンディングとのメンタリングに関するディスカッションと実践	9
2022/8/4 15:00-17:00	Zoom	地域病院アテンディングとの教材作成に関するディスカッション	9
2022/8/18 16:30-18:30	Zoom	地域病院アテンディングとの医学教育のトレンドに関する情報収集とディスカッション	9
2022/8/25 15:00-17:00	Zoom	地域病院アテンディングとのディブリーフィングに関するディスカッション	9
2022/9/1 15:00-17:00	Zoom	地域病院アテンディングとの教学 IR に関する症例基盤型ディスカッション	9

2022/9/8 15:00-17:00	医学系総合研 究棟 グルー プ学習室 4	地域病院アテンディングとの修学資金受給者 の地域定着のためのディスカッション	9
2022/9/15 16:30-18:30	Zoom	地域病院アテンディングとの日本における卒 前医学教育に関する最新の動向に関する知見 共有	9
2022/9/22 15:00-17:00	Zoom	地域病院アテンディングとの効果的なオンデ マンド教材作成のための講義とディスカッシ ョン	9
2022/9/29 15:00-17:00	Zoom	地域病院アテンディングとのオンデマンド教 材作成に関するディスカッション	9
2022/10/6 15:00-17:00	Zoom	地域病院アテンディングとの教育資源に関す るリソースマネジメントのディスカッション	8
2022/10/13 15:00-17:00	医学系総合研 究棟 会議室 2	地域病院アテンディングとの地域医療教育学 FD のミッションの共有	9
2022/10/20 16:30-18:30	Zoom	地域病院アテンディングとの地域医療実習（1 年次）に関する教育実践計画とディスカッシ ョン	9
2022/10/27 15:00-17:00	Zoom	地域病院アテンディングとのナラティブメデ ィスンに関する講義とディスカッション	9
2022/11/10 15:00-17:00	医学系総合研 究棟 会議室 2	地域病院アテンディングとの地域医療実習（1 年次）に関する教育実践計画とディスカッシ ョン	9
2022/11/17 16:30-18:30	Zoom	地域病院アテンディングとの地域医療実習（2 年次）に関する教育実践計画とディスカッシ ョン	9
2022/11/24 15:00-17:00	Zoom	地域病院アテンディングとの修学資金受給者 の地域定着のための計画	9
2022/12/1 15:00-17:00	Zoom	地域病院アテンディングとの地域医療実習（1 年次）に関する振り返り	9
2022/12/8 15:00-17:00	医学系総合研 究棟 会議室 2	地域病院アテンディングとの地域医療実習（2 年次）に関する教育実践計画とディスカッシ ョン	9
2022/12/15 17:30-18:30	Zoom	地域病院アテンディングとの地域医療実習（2 年次）に関する教育目標の共通化	7

2023/1/5 15:00-17:00	Zoom	地域病院アテンディングとの地域医療実習（1年次）に関する実習評価結果の共有とディスカッション	9
2023/1/12 15:00-17:00	医学系総合研究棟 会議室2	地域病院アテンディングとの修学資金需給生向けセミナーの計画に関するディスカッション	9
2023/1/19 16:30-18:30	Zoom	地域病院アテンディングとの教育実践に関するディスカッション	9
2023/2/2 15:00-17:00	Zoom	地域病院アテンディングとの地域医療実習（2年次）に関する教育実践の共有とディスカッション	9
2023/2/9 15:00-17:00	医学系総合研究棟 セミナー室1	地域病院アテンディングとの地域医療実習（2年次）に関する実習評価結果の共有とディスカッション	9
2023/2/16 16:30-18:30	Zoom	地域病院アテンディングとの教育実践に関するディスカッション	9
2023/3/2 15:00-17:00	Zoom	地域病院アテンディングとの教育実践の振り返り	9
2023/3/9 15:00-17:00	医学系総合研究棟 会議室2	地域病院アテンディングとの遠隔教育実践に関するディスカッション	9
2023/3/16 16:30-18:30	Zoom	地域病院アテンディングとの地域医療教育研究に関するディスカッション	9
2023/3/23 15:00-17:00	Zoom	地域病院アテンディングとのメンタルヘルスに関する講義と症例基盤型ディスカッション	9
2023/3/30 15:00-17:00	Zoom	地域病院アテンディングとの地域医療学（1年次）講義の学修目標・授業に関するディスカッション	8

令和5年度（38回、うち対面11回）

実施日時	実施場所	目的・目標・実施内容	参加人数
2023/4/13 15:00-17:00	医学系総合研究棟 第2講義室	地域病院アテンディングの資質・能力、地域病院実習・臨床実習の到達目標	14

2023/4/20 16:30-18:30	Zoom	コンセンサス形成法	14
2023/4/27 15:00-17:00	Zoom	バックワード・デザイン	13
2023/5/11 15:00-17:00	医学系総合研 究棟 セミナ ー室 1	学修者の目標設定・アウトカム	13
2023/5/18 16:30-18:30	Zoom	学修者評価	13
2023/5/25 15:00-17:00	Zoom	学修方略・教育技法	14
2023/6/8 15:00-17:00	医学系総合研 究棟 セミナ ー室 1	学修方略・教育技法	15
2023/6/15 16:30-18:30	Zoom	授業・実習への ICT の活用	11
2023/6/22 15:00-17:00	Zoom	プログラム評価・授業評価	15
2023/7/6 15:00-17:00	Zoom	地域医療学授業振り返り	11
2023/7/13 15:00-17:00	医学系総合研 究棟 セミナ ー室 1	メンタリング	12
2023/7/20 16:30-18:30	Zoom	早期地域体験実習	13
2023/8/3 15:00-17:00	Zoom	地域枠学生キャリアサポート	15
2023/8/24 15:00-17:00	Zoom	夏季フィールドワーク	12
2023/9/7 15:00-17:00	Zoom	Difficult learner encounters	11

2023/9/14 15:00-17:00	医学系総合研 究棟 講義室 2	国際交流について	14
2023/9/21 16:30-18:30	Zoom	地域臨床実習	11
2023/9/28 15:00-17:00	Zoom	早期地域医療体験実習	10
2023/10/5 15:00-17:00	Zoom	多職種連携教育	12
2023/10/12 15:00-17:00	医学系総合研 究棟 セミナ ー室 1	メンタリング制度	15
2023/10/26 15:00-17:00	Zoom	早期地域医療体験実習	14
2023/11/2 15:00-17:00	Zoom	学修者評価	13
2023/11/9 15:00-17:00	医学系総合研 究棟 セミナ ー室 1	診療現場での形成的評価とフィードバック	15
2023/11/16 16:30-18:30	Zoom	診療現場での形成的評価とフィードバック (mini-CEX の実践)	15
2023/12/7 15:00-17:00	Zoom	早期地域医療体験実習の振り返り	16
2023/12/14 15:00-17:15	医学系総合研 究棟 セミナ ー室 1	早期地域医療体験実習の振り返り (フォーカ スグループインタビュー)	17
2023/12/21 16:30-18:30	Zoom	早期地域医療体験実習の振り返り	15
2024/1/4 15:00-17:00	Zoom	地域志向型シミュレーション学修	11
2024/1/11 15:00-17:00	医学系総合研 究棟 第2講 義室	サイトビジット	4

2024/1/18 16:30-18:30	Zoom	サイトビジットによるピアレビュー	16
2024/2/1 15:00-17:00	Zoom	地域志向型シミュレーション学修	16
2024/2/8 15:00-17:00	医学系総合研 究棟 第2講 義室	夏季研修	11
2024/2/15 16:30-18:30	Zoom	地域臨床実習に参加する学生のストレス	14
2024/2/29 15:00-17:00	Zoom	地域病院アテンディングのストレス要因	16
2024/3/7 15:00-17:00	Zoom	地域課題をテーマとした教育研究	14
2024/3/14 15:00-17:00	医学系総合研 究棟 第1講 義室	年間活動振り返り	15
2024/3/21 16:30-18:30	Zoom	地域臨床実習について	12
2024/3/28 15:00-17:00	Zoom	地域臨床実習について	14

令和6年度（43回、うち対面11回）

実施日時	実施場所	目的・目標・実施内容	参加人数
2024/4/4 15:00-17:00	Zoom	2024年度年間計画、地域臨床実習ほか実践準備	15
2022/4/11 15:00-17:00	医学系総合研 究棟 セミナ ー室1	地域病院アテンディングの資質・能力、「地域医療の現場から」企画ディスカッション	14
2024/4/25 15:00-17:00	Zoom	研究倫理について、医学教育的研究について	17
2024/5/2 15:00-17:00	Zoom	地域病院アテンディングの資質・能力、「地域医療の現場から」企画ディスカッション	15
2024/5/9 15:00-17:00	医学系総合研 究棟 セミナ ー室1	バックワード・デザイン	13

2024/5/23 15:00-17:00	Zoom	地域臨床実習ほか実践準備	13
2024/6/6 15:00-17:00	Zoom	学修方略・教育技法	16
2024/6/13 15:00-17:00	医学系総合研 究棟 講義室 1	学修方略・教育技法	15
2024/6/20 16:30-18:30	Zoom	地域臨床実習ほか実践準備	13
2024/7/11 15:00-17:00	医学系総合研 究棟 セミナ ー室 1	学修者評価	16
2024/7/18 16:30-18:30	Zoom	メンタリング	14
2024/7/25 15:00-17:00	Zoom	クリニカル IPE	14
2024/8/22 15:00-17:00	Zoom	医学教育学会報告	14
2024/8/29 15:00-17:00	Zoom	地域臨床実習ほか実践準備	17
2024/9/5 15:00-17:00	Zoom	地域臨床実習ほか実践準備	17
2024/9/12 15:00-17:00	医学系総合研 究棟 セミナ ー室 1	フィードバックの実践	17
2024/9/19 16:30-18:30	Zoom	地域臨床実習ほか実践準備	14
2024/9/26 15:00-17:00	Zoom	Difficult learner encounters	18
2024/10/3 15:00-17:00	Zoom	地域臨床実習ほか実践準備	13
2024/10/10 15:00-17:00	医学系総合研 究棟 セミナ ー室 1	地域臨床実習中間振り返り、アンプロフェッ ショナル行動	13

2024/10/17 16:30-18:30	Zoom	メンタリング制度	13
2024/10/24 15:00-17:00	Zoom	早期地域医療体験実習の準備	17
2024/10/31 15:00-17:00	Zoom	学修者評価	13
2024/11/7 15:00-17:00	Zoom	診療現場での形成的評価とフィードバック	13
2024/11/14 15:00-17:00	医学系総合研 究棟 セミナ ー室 1	診療現場での形成的評価とフィードバック (mini-CEX の実践)	14
2024/11/21 16:30-18:30	Zoom	早期地域医療体験実習の準備	13
2024/11/28 15:00-17:00	Zoom	早期地域医療体験実習の振り返り	14
2024/12/5 15:00-17:00	Zoom	地域臨床実習の振り返り	14
2024/12/12 15:00-17:00	医学系総合研 究棟 セミナ ー室 1	地域志向型シミュレーション学修	18
2024/12/19 16:30-18:30	Zoom	サイトビジットにむけた調整	15
2024/12/26 15:00-17:00	Zoom	地域志向型シミュレーション学修	15
2025/1/9 15:00-17:00	医学系総合研 究棟 セミナ ー室 1	ピアレビュー	16
2025/1/16 16:30-18:30	Zoom	ピアレビュー	14
2025/1/23 15:00-17:00	Zoom	地域志向型シミュレーション学修	17
2025/1/30 15:00-17:00	Zoom	地域志向型シミュレーション学修	14
2025/2/6 15:00-17:00	Zoom	夏季研修	14

2025/2/13 15:00-17:00	医学系総合研 究棟 セミナ ー室 1	地域臨床実習に参加する学生のストレス	21
2025/2/20 16:30-18:30	Zoom	地域病院アテンディングのストレス要因	13
2025/2/27 15:00-17:00	Zoom	地域課題をテーマとした教育研究	14
2025/3/6 15:00-17:00	Zoom	地域課題をテーマとした教育研究	13
2025/3/13 15:00-17:00	医学系総合研 究棟 セミナ ー室 1	地域臨床実習について	13
2025/3/20 16:30-18:30	Zoom	地域臨床実習について	17
2025/3/27 15:00-17:00	Zoom	今年度の振り返り	15

実施期間と対象者数

セミナー名	実施期間
千葉大学地域医療教育学 FD	<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和4年度 通年（月4回開催、うち1回は対面開催） ・ 令和5年度 通年（月4回開催、うち1回は対面開催） ・ 令和6年度 通年（月4回開催、うち1回は対面開催）

図 1 7. 地域病院アテンディングに必要な資質・能力

地域医療 教育学講座

地域病院アテンディングに必要な 資質・能力



<p>≫ 1 地域医療の実践力</p> <p>地域医療に求められる医学的知識、臨床技能ならびに教育力を理解、修得し、多岐にわたる課題への対応を柔軟に実現できる。</p>	<p>≫ 2 地域課題の発掘</p> <p>地域住民との関わりや疫学統計・調査研究を通じ、地域医療における健康の社会的な決定要因等の地域課題を把握し、地域特性に応じた問題解決を実践できる。</p>
<p>≫ 3 働き方・タイムマネジメント</p> <p>医師の働き方多様性を理解し、自身ならびに学修者に対しバランスの取れたタイムマネジメントができる。地域医療に携わるロールモデルとして地域での生活や医療の魅力を学修者に伝えることができる。</p>	<p>≫ 4 生涯学修</p> <p>地域において必要な診療能力の向上に努め、地域医療における役割を果たしながら自らのキャリアを磨くことができる。</p>
<p>≫ 5 心理的安全性の担保</p> <p>学修者の多様性・個性をふまえたニーズの理解および到達度を認識し、心理的安全性を担保した教育を実践できる。</p>	<p>≫ 6 ICT リテラシー</p> <p>地域医療教育に有効な ICT ツールの特性を理解し、時と場所を選ばない教育資源として適切に提供・活用できる。</p>
<p>≫ 7 医学教育カリキュラムの理解</p> <p>医師養成課程における地域医療の教育および研修の位置づけを理解し、学修者のアウトカムに合致した教育を実践できる。</p>	<p>≫ 8 学修者支援</p> <p>地域枠学生、地域実習学生をはじめとする地域医療に携わる学修者の学びを促進することができる。学修者に合わせたキャリア形成を支援できる。</p>
<p>≫ 9 医療制度の理解と自治体との連携</p> <p>千葉県の医師偏在や医療制度の現状、地域の政策や行政の利点と課題を理解し、説明できる。医療面での行政との連携を円滑に行える。</p>	<p>≫ 10 地域医療資源の理解と活用</p> <p>各地域で活用できる医療資源を把握し臨床に活用するとともに、アクセスできる適切な資源を提言できる。</p>
<p>≫ 11 多職種連携</p> <p>福祉・医療サービスとの連携ならびにメディカルスタッフとの協働で、患者個人に合わせた適切な治療介入を行うことができる。</p>	<p>≫ 12 コミュニケーション</p> <p>地域住民、患者や医療者と円滑なコミュニケーションを行い、良好な信頼関係を築くことができる。また、病態のみならず患者の社会的、心理的背景も診る姿勢を心がけ実践できる。</p>
<p>≫ 13 プロフェッショナリズム</p> <p>地域医療への情熱、責任感、適切な倫理観をもち、誇りを持って仕事ができる。また、地域医療を担う医師として必要なプロフェッショナリズムを学修者に示せる。</p>	<p>≫ 14 教育理論、教育手法の理解と実践</p> <p>地域医療の現場に必要な教育理論を理解し、学修者・同僚医師に適切なフィードバックができる。</p>
<p>≫ 15 EBM の理解と実践</p> <p>地域医療に必要な、エビデンスに基づいた医学知識を学修者に伝えることができる。</p>	<p>≫ 16 教育リソースのマネジメント</p> <p>地域医療教育の重要性を職場のスタッフ、ステークホルダーに理解を促すことができる。教育の仲間を増やすなど、協力体制の構築ができる。</p>

2025年3月21日作成

2-2. 地域のための指導医講習会 in 千葉（指導医養成講習会）

医師臨床研修（卒後臨床研修）の地域医療研修など地域での臨床教育に携わっているもしくは携わる予定のある医師を対象に、臨床現場での指導技能向上のための講習会を開催している（図18）。同講習会では、研修医・医学生の直接の指導を担当する予定のある医師に必要な指導技法の修得を行う。特に制約の大きい地域医療の臨床の現場で、いかに効率よく必要な指導をし、研修医・医学生が自ら考え学ぶ姿勢を身につけるかを議論する構成としている（図19）。

目標：

ワークショップ参加者は、卒後臨床研修の主旨に基づいた医師の養成を行うために、地域医療の臨床現場における効果的な臨床指導を実践し、研修医の生涯学習を積極的に図る事のできる指導医となることをゴールとする。

図18. 地域のための指導医講習会 in 千葉の様子



図19. 地域のための指導医講習会 in 千葉 進行表

第3回 地域のための指導医講習会 in 千葉 進行表								
第1日目 6月30日(日)								
プログラム No.	時刻	時間	Total 時間	事項(テーマ)	内容	実施方法	担当	備考
	8:30 ~			受付 写真撮影(タスクフォース)			事務	
	9:00 ~ 9:05	0:05		開会	開催主催者挨拶 主催責任者挨拶		伊藤	
	9:05 ~ 9:10	0:05			企画責任者、 世話人等の紹介		事務	
01	9:10 ~ 9:35	0:25	0:25	「100%」の「1」を「1」にする (自己紹介/参加の動機と医療者教育の経験、まとめ)	全体討議	PLS	伊藤	
	9:35 ~ 9:45	0:10		写真撮影(参加者)				
02	-1 9:45 ~ 9:55	0:10	0:35	研修医が地域で修得すべきこと (コンピテンシ)	説明	PLS	山内	①医師臨床研修制度の理念と概要 ②医師臨床研修の到達目標と終了基準 ③研修プログラムの立案 ④研修プログラムの基本的診療能力 ⑤研修の社会性・患者と医師との関係 ⑥地域医療・医療安全管理 ⑦地域医療・地域保健 ⑧指導医のあり方 根拠に基づいた医療
	-2 9:55 ~ 10:35	0:40	1:15		グループ討議	SGD	TF	
	10:35 ~ 10:45	0:10		休憩				
02	-3 10:45 ~ 11:20	0:35	1:50	研修医が地域で修得すべきこと (コンピテンシ)	発表・全体討議	PLS	笠井	
	-4 11:20 ~ 11:40	0:20	2:10		講義	PLS	鋪野	
	11:40 ~ 12:20	0:40		昼食				
02	-5 12:20 ~ 12:40	0:20	2:30	研修医が地域研修に求めるもの	説明	PLS	荒木	③研修プログラムの立案(研修目標について)
03	-1 12:40 ~ 13:10	0:30	3:00	研修方法を考える①	説明・全体討議	PLS	田島	③研修プログラムの立案(研修方略について) 地域医療 地域保健
	-2 13:10 ~ 14:00	0:50	3:50		グループ討議	SGD	TF	
	-3 14:00 ~ 14:30	0:30	4:20		発表・全体討議	PLS	村山	
	14:30 ~ 14:40	0:10		コーヒープレイク				
04	14:40 ~ 16:20	1:40	6:00	コーチング	説明・全体討議	PLS	横尾	④指導医の在り方 コーチング
	16:20 ~ 16:30	0:10		休憩				
05	16:30 ~ 17:20	0:50	6:50	研修方法を考える②	説明・全体討議	PLS	山内	③研修プログラムの立案(研修方略の実施計画の作成について) 地域医療・地域保健
06	-1 17:20 ~ 17:40	0:20	7:10	症例提示の指導法	説明・全体討議	PLS	清水	④指導医の在り方 フィードバック技法
	-2 17:40 ~ 18:20	0:40	7:50		ロールプレイ	SGD	TF	
	-3 18:20 ~ 18:30	0:10	8:00		全体討議	PLS	曾我井	

(1日目:8時間00分)

第3回 地域のための指導医講習会 in 千葉 進行表
第2日目 7月7日(日)

プログラム No.	時刻	時間	Total 時間	事項(テーマ)	内容	実施方法	担当	備考	
	8:50 ~ 9:05	0:15	0:15	第1日を振り返って	全体討議	PLS	山内		
07	-1	9:05 ~ 9:25	0:20	臨床ミニレクチャーの実践	説明・全体討議	PLS	清水	④アライアンスの基本的診療能力 ③医療の社会性 ③患者と医師との関係	
	-2	9:25 ~ 10:05	0:40		1:15	ロールプレイ	SGD		TF
	-3	10:05 ~ 10:15	0:10		1:25	全体討議	PLS		山田
	10:15 ~ 10:25	0:10		休憩					
08	-1	10:25 ~ 10:35	0:10	1:35	地域医療教育学講座の取組紹介	説明	PLS	山内	①医師臨床研修制度の理念と概要 ②医師臨床研修の到達目標と終了基準 ③医療の社会性・地域医療・地域保健
	-2	10:35 ~ 10:45	0:10	1:45	地域医療実践者からみた地域医療教育	説明	PLS	青木	
09	-1	10:45 ~ 12:15	1:30	3:15	研修医の評価	説明・全体討議	PLS	鋪野	③研修プログラムの立案(研修評価について)
	12:15 ~ 13:00	0:45		昼食					
10		13:00 ~ 13:30	0:30	3:45	研修医のストレスと働き方改革	説明・全体討議	PLS SGD	荒木	③医師の働き方改革 ④メンタルケア
11	-1	13:30 ~ 13:50	0:20	4:05	問題行動へのフィードバックの方法	説明・全体討議	PLS	田島	④フィードバック技法
	-2	13:50 ~ 14:40	0:50	4:55		ロールプレイ	SGD	TF	
	-3	14:40 ~ 14:50	0:10	5:05		全体討議	PLS	勝山	
	14:50 ~ 15:00	0:10		コーヒーブレイク					
12	-1	15:00 ~ 15:45	0:45	5:50	プロフェッショナリズム	説明・全体討議	PLS	笠井	④アライアンスの基本的診療能力 ③医療の社会性 ③患者と医師との関係
	-2	15:45 ~ 16:25	0:40	6:30		個人作業とグループ討議	SGD	TF	
	-3	16:25 ~ 16:45	0:20	6:50		発表・全体討議	PLS	笠井	
13		16:45 ~ 17:15	0:30	7:20	講習会のまとめ・ふりかえり	説明・全体討議	PLS	伊藤	③研修プログラムの立案 ⑤研修医、指導医及び研修プログラムの評価
	17:15 ~ 17:35	0:20		閉会	修了証書授与等、解散		伊藤		

(2日目: 7時間20分)

2日間: 15時間20分+事前学習40分、合計16時間

Small Group Discussion (SGD)	グループ討議
Plenary Session (PLS)	全体セッション(発表)
Task Force (TF)	講習会世話人

実施期間と対象者数

セミナー名	実施期間
地域のための指導医講習 会 in 千葉	<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和4年度（12名） 10月9日、10月23日 ・ 令和5年度（22名） 7月2日、7月9日 ・ 令和6年度（31名） 6月30日、7月7日

3. 地域医療に関する国際連携

地域医療教育・総合診療指導医育成・指導力向上をテーマとしたセミナーを開催している。

3-1. 英国 Leicester 大学・千葉大学ジョイントセミナー

地域医療を支える GP (General Practitioner) 育成のあり方について英国と日本の現状について情報および意見交換を行い、千葉大学・千葉県における地域医療教育・GP 教育に活かすセミナーとなった(図20、21)。

3-2. 韓国 Inje 大学・千葉大学ジョイントセミナー

釜山(韓国)で The 11th Inje-Chiba Joint Seminar in Medical Education を開催した(図22)。地域志向型医療人材養成をテーマとしたシンポジウムを通じ、千葉大学とインジェ大学における地域医療教育の教育方略やアウトカムに関する知見を共有した。

3-3. 豪州・千葉大学ジョイントセミナー (Sousa-Chiba ジョイントセミナー)

豪州で地域医療教育を実践している医師との合同セミナーを実施した(図23)。講師には、元クイーンズランド州医師会長、僻地医療専門医プログラム管轄実施フォーラム共同議長であるディリップ・ドゥペリア医師をお招きし、匠瑳市民病院の齋藤学医師らとオンラインでオーストラリアと日本の地域医療教育に関するグッドプラクティスを共有した。また、今後も継続的に豪州と日本との地域医療教育について定期的に意見交換を行うこととなった。

図20. レスター大学との地域医療教育に関するジョイントセミナー(千葉大学で開催)



図 2 1. レスター大学との地域医療にジョイントセミナー（ポスター）

レスター大・千葉大ジョイントセミナー

University of Leicester and Chiba University Joint Seminar

2023年4月26日（水）10:00~12:00

医学系総合研究棟（治療学研究棟）4階 セミナー室1

対面または Zoom

レスター大学 GP 教員による千葉大学・千葉県医療機関訪問企画 ※GP:General Practitioner

テーマ：国際的な視点で地域医療教育・GP 育成を考える

対 象：亥鼻キャンパス3学部の学部生・大学院生・教職員・医学部附属病院の職員

参加費：無料



Dr. Maria Keerig
Associate Professor
of Medical Education
at Leicester Medical School



Dr. Anil Sood
Associate Postgraduate Dean
at Health Education England West Midlands
/ Northfield Medical Centre at Leicester

〈プログラム〉

「英国・レスター大学における GP：General Practitioner の育成」

- 1) 'Undergraduate GP education at Leicester Medical School' - Dr. Maria Keerig
- 2) 'An overview of GP training and recent updates in the UK' - Dr. Anil Sood

「千葉県の GP 育成を支援する地域医療教育の取り組み」

Community-oriented Medical Education Initiatives to Support GP Development in Chiba

- 1) 千葉大学・千葉県地域病院連携 Faculty Development
Faculty Development integrated with Chiba University and Community-educational Hospital' -Dr. Kazuyo Yamauchi
- 2) 地域志向型リーダーを育てる地域医療学カリキュラム
'Community-oriented medical education curriculum to foster community-oriented leaders' -Dr. Kiyoshi Shikino

千葉大学との協定校である英国・レスター大学とは、IPE（多職種連携教育）、GRIP（グローバル地域ケア IPE プラス創生人材の育成）事業等で医学部・看護学部・薬学部と大学院生のプログラム交流を行っています。レスター大学医学部は GP（General Practitioner）の教育に特化しており、GP 育成についての、日本と英国の大学を中心とした地域病院・診療所における交流事業発展のため、来日の運びとなりました。



お申し込みはこちら

千葉大学大学院医学研究院 医学教育学
千葉大学大学院医学研究院 地域医療教育学

図 2 2. 韓国インジェ大学との地域医療教育に関するジョイントセミナー（インジェ大学で開催）

CHIBA UNIVERSITY 인제대학교
INJE UNIVERSITY

The 11th Inje-Chiba
Joint Seminar in Medical Education

Community-oriented Medical Education

Time 9:30 - 12:00, June 02 (Friday), 2023
Venue Inje University College of Medicine, 7th Floor (Room no. 702)

Time	Contents	Presenter
09:30 - 09:45	Welcome greeting Congratulation remark Introducing important attendees	Seok-jin Choi Byoung Doo Rhee Masahiro Tanabe Shoichi Ito Seok-jin Choi
09:45 - 10:10	Community Practice-based Health profession Development Program to Support Community- oriented medical education in Chiba	Kazuyo Yamauchi
10:10 - 10:35	Impact of community-oriented medical education curriculum on medical students' community healthcare perceptions	Kiyoshi Shikino
10:35 - 10:55	Break	
10:55 - 11:20	Project-based learning to find and solve the community problems	Hyunjung Ju
11:20 - 11:45	Government-led clinical clerkship program of public medical center in rural community	Bo Young Yoon Jong Tae Lee
11:45 - 12:00	Discussion & Ending remark	Seok-jin Choi

Organized by Inje University & Chiba University College of Medicine

図 2 3. ディリップ・ドゥペリア医師とのジョイントセミナー（オンライン開催）



実施期間と対象者数

セミナー名	実施期間
英国 Leicester 大学・千葉大学 ジョイントセミナー	・令和5年4月26日（教員17名、学生3名）
韓国 Inje 大学・千葉大学 ジョイントセミナー	・令和5年6月2日（教員15名、学生100名）
豪州・千葉大学 ジョイントセミナー	・令和6年11月15日（教員10名）

4. 広報活動

本講座での活動内容を、広く普及するためにホームページを令和4年4月に開設した。ホームページでは講座での活動内容やスタッフ・協力者を紹介している（図24）。また、千葉大学医学部で発行している医学部入学案内パンフレットに「地域志向型医療人材養成プログラム」として地域医療教育学で行う地域医療教育の内容が掲載される（図25）。同内容を通じて、今後、千葉大学医学部地域枠を目指す中高生への周知の機会とする。さらに、医学生保護者会向け千葉大医学部後援会会報で「千葉大学における地域医療を支える先進的医師育成の取り組み」として地域医療教育学講座の紹介をしている（図26）。

図 2 4. 地域医療教育学講座ホームページ

地域医療教育学

Community-Oriented Medical Education

Link

- [Visiting Students Program](#)
- 千葉大学関連リンク**
- [千葉大学](#)
- [千葉大学医学部](#)
- [千葉大学Moodle](#)
- [千葉大学医学部附属病院](#)
- [総合医療教育研修センター](#)
- [クリニカルスキルズセンター](#)
- [c-pace \(Chiba Pioneering Advanced Clinical Education\)](#)
- 年次報告書**
- [2019年度年次報告書\(PDF\)](#)
- [2020年度年次報告書\(PDF\)](#)
- [2021年度年次報告書\(PDF\)](#)
- [2022年度年次報告書\(PDF\)](#)





講座紹介

地域医療教育として、医学生に地域で診療する能力につながる多彩な講義や実習を通じ、地域医療への関心及び幅広い診療能力を育て、また、地域病院が、臨床実習・臨床研修等を通して地域医療を学ぶ効果的な場となるように、地域病院で働く医師の指導能力向上のための教育を実施することを目的に、千葉県からの寄付講座として、令和4年より地域医療教育学講座を開設しました。

スタッフ・協力者紹介

- ❖ 伊藤彰一 教授 (医学教育学)
- ❖ 山内かつ代 特任教授
- ❖ 鋪野紀好 特任准教授
- ❖ 荒木信之 特任講師

<地域病院アテンディング>

- ❖ 青木信也 特任助教 (2022.4~) 医療法人SHIODA塩田病院
- ❖ 勝山陽太 特任助教 (2022.4~) 山武市国保さんぶの森診療所
- ❖ 曾我井大地 特任助教 (2022.4~) 地方独立行政法人さんむ医療センター
- ❖ 宮本真衣 特任助教 (2022.4~2024.3) いすみ医療センター (2024.4~) 宮本内科医院
- ❖ 村山愛 特任助教 (2023.4~) 君津中央病院大佐和分院
- ❖ 森徳郎 特任助教 (2023.4~) 大多和医院
- ❖ 尾崎尚人 特任助教 (2023.4~) 季美の森リハビリテーション病院
- ❖ 山田悟史 非常勤講師 (2023.4~) 鴨川市立国保病院
- ❖ 長谷部圭亮 非常勤講師 (2023.10~) 横芝光町立東陽病院
- ❖ 杉田昌昭 特任助教 (2023.12~) 外房こどもクリニック
- ❖ 室屋洋平 特任助教 (2022.10~2023.6) 長生病院

▶ 詳しいスタッフ紹介はこちら



活動内容

- ❖ (1) 地域医療に関心を持つ医学生(地域枠学生等)への支援
 - ・地域医療において、地域で診療する能力につながる多彩な講義や実習を行う。
 - ・総合的な診療能力を獲得するための臨床実習体制やカリキュラムの構築を図る。
 - ・地域病院との連携を強化し、医学生(地域枠学生等)に地域医療に係る面談指導や医療機関の情報提供を行う。
 - ・医学生(地域枠学生等)同士の連携を強化し、長期的に地域で診療や指導を行う基盤となるネットワークを構築する。
- ❖ (2) 現場における地域医療の実践と指導
 - ・地域病院と関係構築し、医学生(地域枠学生等)の地域で診療する能力を涵養する。また、地域病院において、医学生や研修医を指導できる人材(地域病院アテンディング)の育成を行う
 - ・医師(地域枠医師等)に対して、更なる地域医療の実践を促すとともに、「地域医療研修」・「一般外来研修」・「在宅医療研修」といった臨床研修指導や地域での診療方法等の指導を行う。
- ❖ (3) 県内における地域医療教育ネットワークの構築・強化
 - ・地域における様々な医療課題を地域の病院や大学で解決していくため、大学と大学、大学と病院、病院と病院それぞれが連携して診療や人材育成を行うネットワークを構築し、強化する。
- ❖ (4) 地域医療に従事する医師の診療能力や指導能力の向上に関する教育の実施
 - ・地域病院アテンディング(特任助教等)に対して、自身の診療能力や指導能力向上のための教育を行うとともに、自らが勤務する病院の医師等に対する指導(スタッフ・ディベロップメント)についての教育を行う。
- ❖ (5) 地域病院における再就業支援取組の強化
 - ・千葉県内に移住し就労する医師、あるいは千葉県内で診療に復帰する医師に対して、地域医療に従事するためのトレーニングの場の提供を目指す。



[卒業生メール登録](#) [アクセス・お問い合わせ](#) [サイトマップ](#)

Copyright © 2024 千葉大学医学部 医学教育研究室 All Rights Reserved.

[▲先頭へ戻る](#)

スタッフ・プロフィール & コメント



❖ 山内 かつ代

所属：千葉大学大学院医学研究院・地域医療教育学

専門分野：医療者教育学・整形外科

認定医・専門医など：整形外科専門医

一言コメント：多様性のある仲間とともに地域医療現場に即した実践的な教育・学修方法をつくり上げていきます。地域医療臨床教育に興味のある方、実際に地域医療の現場で実習、研修を受け持たれている先生方、ぜひご連絡ください。

❖ 鋪野 紀好

所属：千葉大学大学院医学研究院・地域医療教育学

専門分野：総合診療、総合内科、医学教育

認定医・専門医など：総合内科専門医・指導医、プライマリ・ケア認定医・指導医 日本病院総合診療医学会認定医・特任指導医、総合診療専門研修特任指導医

一言コメント：自分の生まれ育った千葉県での地域医療教育学に携われることをとても誇らしく感じています。総合診療と医学教育を背景とし、未来の医療人材を育成するために貢献できればと思います。

❖ 荒木 信之

所属：千葉大学大学院医学研究院・地域医療教育学

専門分野：脳神経内科

認定医・専門医など：総合内科専門医、日本神経学会神経内科専門医・指導医

一言コメント：地域医療を学ぶ場を作り、意義があり持続可能であるかも評価し改善していく仕事を通じて、千葉の地域医療、ひいては千葉の医療全体が良くなっていくことに貢献できればと思っています。よろしくお願致します！

Link

❖ [Visiting Students Program](#)

千葉大学関連リンク

❖ [千葉大学](#)

❖ [千葉大学医学部](#)

❖ [千葉大学Moodle](#)

❖ [千葉大学医学部附属病院](#)

❖ [総合医療教育研修センター](#)

❖ [クリニカルスキルズセンター](#)

❖ [c-pace \(Chiba Pioneering Advanced Clinical Education\)](#)

年次報告書

❖ [2019年度年次報告書\(PDF\)](#)

❖ [2020年度年次報告書\(PDF\)](#)

❖ [2021年度年次報告書\(PDF\)](#)

❖ [2022年度年次報告書\(PDF\)](#)

❖ **青木 信也**

所属：医療法人SHIODA塩田病院・総合診療科

専門分野：地域総合診療

認定医・専門医など：救急専門医・プライマリ・ケア連合学会認定指導医

一言コメント：現在どんなへき地においてもインターネットさえあれば、標準的知識や論文にアクセスすることが出来ます。その知識をどう得て、目の前の患者さんにどう活かすかということを現場で一緒に学びましょう。

❖ **勝山 陽太**

所属：山武市国保さんぶの森診療所

専門分野：総合診療

認定医・専門医など：総合診療専門医・特任指導医、家庭医療専門医・指導医、総合内科専門医・指導医

一言コメント：皆様と地域医療について考えながら、その楽しさを共有していきたいです。学生実習も受け入れており、地域の診療所ならではの経験もできます。千葉県全体で地域医療を盛り上げていきましょう！

❖ **菅我井 大地**

所属：地方独立行政法人さんむ医療センター 総合診療科

専門分野：総合診療

認定医・専門医など：総合診療専門医・特任指導医、家庭医療専門医・指導医、総合内科専門医・指導医

一言コメント：『患者さん含めた地域住民も医療者も学習者もみんながHAPPYになる働き方』を目指してさんむ地域で総合診療を行っています。ぜひ楽しく、学んでいきましょう。

❖ **宮本 真衣**

所属：宮本内科医院

専門分野：糖尿病代謝内分泌内科

認定医・専門医など：糖尿病代謝内分泌内科

一言コメント：地域医療では急性期医療技術を始め往診などの在宅医療の技術、介護サービスを取り入れた医療の介入が学べます。また地域ならではの特徴や魅力が沢山あります。是非一緒に地域医療を経験し学んでいきましょう！

❖ **村山 愛**

所属：君津中央病院大佐和分院

専門分野：総合診療

認定医・専門医など：家庭医療専門医、総合診療専門医、内科認定医

一言コメント：地域には、医師として人として、成長する機会が無限にあります。小病院・診療所ならではの魅力を伝えられたら嬉しいです。一緒に学べるのを楽しみにしております。

❖ **森 徳郎**

所属：大多和医院(長生郡白子町)

専門分野：地域医療・家庭医療

認定医・専門医など：総合内科専門医

一言コメント：今より少しでも世界を良くしていきたいと思っています。子どもが健康的に育ち、良い教育機会に恵まれ、働くひとが充実感を持ち、高齢者が安心して社会に参画できる地域を目指しています。

❖ **尾崎 尚人**

所属：季美の森リハビリテーション病院

専門分野：リハビリテーション医学

認定医・専門医など：リハビリテーション科専門医、産業医

一言コメント：地域の患者さんが生活や就労の場に戻れるように、機能障害に対する専門的な評価と治療、および社会資源の導入支援を行っています。

❖ **山田 悟史**

所属：鶴川市立国保病院

専門分野：総合診療科・内科

認定医・専門医など：総合診療専門医・特任指導医、内科認定医

一言コメント：鶴川市の山間地域において、外来・入院・訪問診療を行う地域包括ケアの要となる医療機関での診療を通して地域医療の魅力を発信していきます。地域医療研修の希望者はお気軽にご連絡ください！

❖ **杉田 昌昭**

所属：外房こどもクリニック

専門分野：小児科

一言コメント：近隣に小児科診療を行う機関は少なく、入院施設まで1時間かかる場所で診療をしています。入院を防ぐための外来診療や、発達・心理的問題で困惑しているお子さんの総合的支援（行政、医療、福祉、教育、保育）が必要です。現場を見て、感じて、未来につながる支援を一緒に考えていきましょう。

❖ **長谷部 圭亮**

所属：横芝光町立東陽病院

専門分野：総合診療科、アレルギー・膠原病内科

認定医・専門医など：内科専門医

一言コメント：千葉県医師少数区域に位置する横芝光町唯一の町立病院で地域医療を実践しています。日々研鑽を怠らず、地域にいながらグローバルスタンダードな質の高い医療と教育の実践を心がけております。健康の社会的決定要因へのアプローチ、筋骨格系など幅広い部位への超音波診療も得意としており、様々な角度から多様な地域医療の面白さを皆様と分かち合い、住民の方々へ還元できましたら幸いです。

先生、
教えて！

千葉大学における地域医療を支える 先進的医師育成の取り組み



千葉大学大学院医学研究院 地域医療教育学 特任教授 山内かつ代 先生
 千葉大学大学院医学研究院 地域医療教育学 特任准教授 鋪野 紀好 先生
 千葉大学大学院医学研究院 地域医療教育学 特任講師 荒木 信之 先生

【地域医療教育学講座について】 千葉県地域枠と地域医療教育学

千葉大学医学部では2020年度より「千葉県地域枠」が設けられ、地域枠学生として毎年20名が入学しています。地域枠の学生は卒業後、千葉県知事が定める千葉県内の病院に一定期間勤務することが定められています。また、地域枠の学生のみならず全ての学生が地域医療への関心を持ちプライマリ・ケアや有病率の高

い疾患に対する幅広い診察能力を獲得することが、新・医学教育モデル・コア・カリキュラム（2022年度改訂）で求められています。医学部カリキュラムにおける地域医療教育の重要性は、近年国内外からの報告により、多様なプログラムとその有効性が示されています。また、地域医療の授業、実習では、地域病院指導医の指導力が学修効果に多大な影響をおよぼします。

これらのニーズをふまえ、大学、千葉県、地域病院が連携協力し、医療機関の規模によらず、千葉独自の地域を志向したプライマリ・ケアの考え方を教育する「地域志向型医学教育：Community-oriented Medical Education」を理念とした千葉県寄附講座千葉大学地域医療教育学講座が2022年4月に発足しました。当講座では、2つの役割を柱としております。1つ目は、学生が将来一人前の医師として

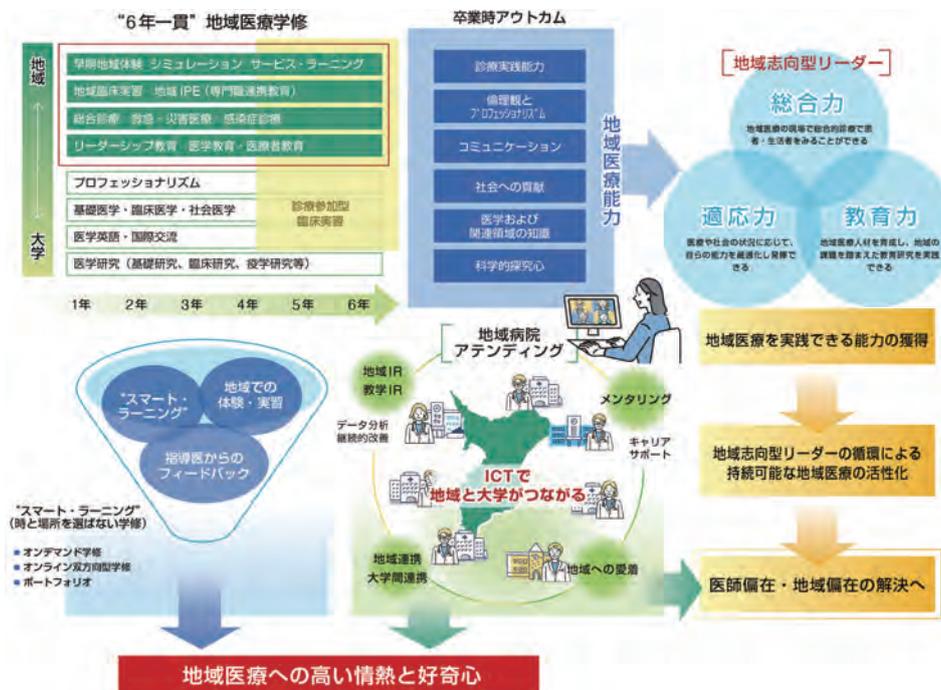


図. 地域医療への高い情熱と好奇心を涵養して総合力・適応力・教育力を醸成する地域志向型医療人材養成プログラムの概要

診療する能力につながる地域医療の中で活躍できるようになるための講義・実習を通じたカリキュラム（**地域志向型医療人材養成プログラム・6年一貫地域医療学修プログラム**）を開発・実践する役割、2つ目は、地域病院の臨床実習・研修が学生にとって地域医療を学ぶ効果的な場となるように、地域病院で働く医師の指導力向上の取り組み（**千葉大学地域病院指導者育成FD・HPDプログラム**）を支援する役割です。どちらも、千葉大学特任助教である地域病院アテンディング（地域病院指導医）と共に活動し、実習にあたり地域病院、スタッフ、患者・市民の皆様にご協力をいただいています。

**地域志向型医療人材養成プログラム
(Chiba Community-Oriented Medical Education: c-come)**

2022年度の文部科学省研究拠点形成費等補助金（ポストコロナ時代の医療人材養成拠点形成事業）に千葉大学と東邦大学の「地域医療への高い情熱と好奇心を涵養して総合力・適応力・教育力を醸成する地域志向型医療人材養成プログラム」が採択されました。同プログラムは、医師少数県である千葉県において、学生や医療者の地域医療に対する高い情熱と好奇心を涵養し、地域における医療ニーズの変化や予測困難な課題発生に対応できる総合力・適応力・教育力を有する地域志向型リーダーの育成を目的としています。具体的には、地域医療学、早期地域医療体験、地域IPE（地域での専門職連携教育）、ジェネラリスト入門（総合診療、救急・災害医療、感染症等）、統合的クリニカル・クラークシップ、地域クリニカル・クラークシップ等からなる「6年一貫地域医療学修プログラム」を展開します。なお、本プログラムはChiba Community-Oriented

Medical Educationにちなんで「c-come」と呼んでいます。

c-comeでは、大学と大学、大学と地域、地域と地域をオンラインで繋ぐ双方向性学修やオンデマンド学修を活用することも特色のひとつです。オンデマンド学修の充実により、医学生が時間と場所に捉われず、効率的・効果的に地域医療に役立つ能力を学ぶことができます。また、連携大学である東邦大学との一部授業の将来的な相乗りを計画しており、双方に良い刺激を受け多様性を養う場となることを期待しております。これらのプログラムによって養成された地域志向型リーダーは、自らの総合力・適応力・教育力を発揮することにより地域医療での診療・教育・研究を活性化させ、持続可能性のある人材循環システムを構築し、医師偏在・地域偏在の解決に貢献すると考えています。

【千葉大学6年一貫地域医療学修プログラム】

①地域医療学

地域枠の学生を対象に1年次に「地域医療学」という講義・実習を行っています。地域医療の現状と課題について知り、その発展と改善のための方法について考え、将来、地域医療に携わる者として自らのキャリアデザインも考えていくことを目標としています。地域枠の学生は必修ですが、地域枠以外の医学生も参加することができます（後述の病院実習は地域枠のみです）。全10回の構成で、グループワークを主体とした能動的な学修スタイルを進めています。

その中で地域医療実習も行っています。地域病院アテンディングの医師から施設の紹介を聞いた後で、その施設一つを選んで1日実習に行くことができます。学生側は事前にそ

こで何を学びたいか整理したうえで実習に臨み、地域病院アテンディングも最大限の準備をして学生を迎え入れます。そして実習後、実習を経験した全ての学生が一堂に会して発表会を行い、各施設でどのような経験をしてきたか振り返ります。このように、一年次から地域医療の実際に触れることで、自らのキャリアを意識し、目標を持って日々の学修に臨むことができます。

②夏季フィールドワーク

地域医療学の実習は1日、1施設であり、地域枠以外の学生は現在の所、実習には参加できません。そこで、本年度より夏季フィールドワークと称して、夏季休暇の期間中の任意参加の実習を開始しました。地域病院アテンディングのいる施設が有志で開催し、本年度は5施設で実施します。地域枠以外の学生も参加可能で全学年が参加可能です。実習内容も様々で、病院内でチームの一員として複数日地域医療を体験するものや、サマースクールなど地域事業の企画・実行に参加するもの、患者さんとその家族になりきって実際に医療機関を受診し、入院から自宅に退院するまでを模擬体験するもの、回復期病棟入院から自宅に帰るまでを体験しながら地域包括ケアの実際を学ぶものなど、各施設の特色を活かした、楽しみながら地域医療体験ができる企画が揃っています。

③地域医療PBL

医学部2年生、3年生は地域枠学生もそれ以外の医学生も、医学の基礎を学ぶ期間になります。そして医学部4年生になると臨床医学についてのPBL（problem-based learning：問題基盤型学修）という学修が始まります。PBLでは、10人弱のグループに分かれ、2日に分けて症例課題

にグループで取り組みます。1日目は問題解決のために必要な事をリストアップし、分担して調べてきます。2日目ではその知識を持ち寄り、問題解決に挑みます。PBLは各専門領域別に行いますが、本年度から新しく地域医療PBLも始めることにいたしました。地域枠学生だけでなく4年生全員が必修であり、続いての地域臨床実習のための大切な準備期間となります。

④地域臨床実習

医学部4-6年生の間、千葉大学では診療参加型臨床実習を行います。地域医療機関での実習はいくつかの診療科実習の一部として行われてきましたが、来年度から地域枠に限らず、全学生が3週間地域医療機関での実習（地域臨床実習）を必修として受けられるようになります。地域病院アテンディングのいる施設を中心に実習を行う予定です。地域

医療学で高めたモチベーションをもってPBLで培った応用力と大学病院の臨床実習で発展させた実践力を試す場となることが期待されます。

【地域病院アテンディングの活躍と千葉大学地域病院指導者育成FD・HPDプログラム】

(FD: Faculty Development、HPD: Health Profession Developmentの略)

地域病院アテンディングは学生にとってよきロールモデルともなります。学生の学修アウトカムの共通理解のもと、医師偏在改善に向けた医学部地域医療教育・実習の充実化に向け、地域医療教育学教員の一人として教育活動を進めています。週1回はオンラインで大学教員と繋がり、地域医療教育FDに参画、ICTを活用しながら、地域におけるアウトカム基盤型教育、指導法、学修者評価の考え方などを共有し、臨床教育に関する知識を整理・インプット

します。月1回は地域病院アテンディングが大学に合流し、対面でのデモンストレーションやワークショップなどを行います。スキルアップしながら、地域病院アテンディング自身のフィールドでの実習の準備、実践を行い、指導の質の向上を図っていきます。

今後、地域病院アテンディングの資質・能力の変化、学生の意識や学修成果の変化、地域の医療者、患者・市民の皆様への影響についても調査し、活動の効果を評価しながらより良いものにしていく方針です。地域病院アテンディングは随時募集中（参加要件あり）ですので、活動にご興味のある方、病院、クリニックの先生がおられましたら本講座までお気軽にお問い合わせください。

本講座・事業の詳細につきましては、以下のホームページを是非ともご参照ください。

千葉県寄附講座千葉大学大学院医学研究院地域医療教育学

<https://www.m.chiba-u.jp/class/mededu/come/index.html>



地域志向型医療人材養成プログラム (Chiba Community-Oriented Medical Education: c-come)

<https://www.m.chiba-u.ac.jp/dept/c-come/index.html>



紹介/Profile



山内 かつ代 (やまうち かづよ)

千葉大学大学院医学研究院 地域医療教育学 特任教授

1999年3月 東京女子医科大学医学部 卒業
1999年4月 千葉大学大学院医学研究院 整形外科入局・関連病院にて専門研修
2009年 千葉大学大学院修了・医学博士取得 (脊椎・運動器疼痛研究)
2009～2010年 米国 University of California San Diego 留学
2012年 千葉大学医学部附属病院 整形外科 医員
2013年 千葉大学医学部附属病院 総合医療教育研修センター 特任助教
2017年 東京女子医科大学医学教育学 講師
2020年 米国 MGH Institute of Health Professions 医療者教育学専門職修士取得
2022年 千葉大学大学院医学研究院 地域医療教育学 特任教授 (現職に至る)

【学会】

日本整形外科学会 (理事、専門医)
日本医学教育学会 (代議員)

紹介/Profile



鋪野 紀好 (しきの きよし)

千葉大学大学院医学研究院 地域医療教育学 特任准教授

2008年3月 千葉大学医学部 卒業
2010年4月 千葉市立青葉病院 臨床研修医
2011年 千葉大学医学部附属病院 総合診療科 シニアレジデント
2012年 千葉大学医学部附属病院 総合診療科 医員
2013年 千葉大学医学部附属病院 総合診療科 特任助教 兼 総合医療教育研修センター
2022年 千葉大学大学院医学研究院 地域医療教育学 特任准教授 (現職に至る)

【学会】

日本医学教育学会 (認定医医学教育専門家、代議員)
日本内科学会 (総合内科専門医、指導医)
日本プライマリ・ケア連合学会 (認定医、指導医)
日本病院総合診療医学会 (認定医、指導医)
Association for Medical Education in Europe (Associate Fellow)
American College of Physician (Fellow)

紹介/Profile



荒木 信之 (あらき のぶゆき)

千葉大学大学院医学研究院 地域医療教育学 特任講師

2007年3月 千葉大学医学部卒業
2007年4月 国立病院機構千葉医療センター 臨床研修医
2013年 千葉大学医学部附属病院 脳神経内科 医員
2016年 国立病院機構千葉東病院 脳神経内科
2019年 千葉大学医学部附属病院 総合医療教育研修センター 特任助教 兼 脳神経内科
2023年 千葉大学大学院医学研究院 地域医療教育学 特任講師 (現職に至る)

【学会】

日本内科学会 (総合内科専門医、指導医)
日本神経学会 (専門医、指導医)
日本自律神経学会 (評議員)
日本発汗学会 (評議員)

5. 各施設での研修医・医学生の受入状況

地域病院アテンディングの所属する各医療機関での研修医や医学生等の受入状況は以下の通りである。なお、地域病院アテンディングが関与したものを対象として記載している。

<全施設の受け入れ状況（合計）>

年度	令和3 (参考)	令和4	令和5	令和6
臨床研修医				
受入（人）	56	60	59	67
受入（人週）	206	206	214	252
医学生（臨床実習）				
受入（人）	34	39	118	124
受入（人週）	68	54	185	235
医学生（早期地域医療体験実習）				
受入（人日）	-	20	20	20
医学生（夏季フィールドワーク）				
受入（人）	-	-	17	31
受入（人日）	-	-	49	36
医学生（夏季実習）				
受入（人）	-	-	4	14
受入（人日）	-	-	12	84

<各施設の受け入れ状況>

1) 医療法人 SHIODA 塩田病院

年度	令和3 (参考)	令和4	令和5	令和6
臨床研修医				
受入（人）	12	15	12	11
受入（人週）	54	68	55	54
医学生（臨床実習）				
受入（人）	-	-	17	14
受入（人週）	-	-	37	38
医学生（早期地域医療体験実習）				
受入（人日）	-	7	3	3
医学生（夏季フィールドワーク）				
受入（人）	-	-	4	3
受入（人日）	-	-	17	3

2) 山武市国保さんぶの森診療所

年度	令和3 (参考)	令和4	令和5	令和6
臨床研修医				
受入(人)	5	4	4	4
受入(人週)*	26	14	18	16
医学生(臨床実習)				
受入(人)	17	19	41	35
受入(人週)*	34	26	60	53
医学生(早期地域医療体験実習)				
受入(人日)	-	2	2	2
医学生(夏季フィールドワーク)				
受入(人)	-	-	2	5
受入(人日)	-	-	2	5

*地方独立行政法人さんむ医療センターでの臨床実習と同週に実施(1日)

3) 地方独立行政法人さんむ医療センター

年度	令和3 (参考)	令和4	令和5	令和6
臨床研修医				
受入(人)	5	4	4	4
受入(人週)	26	14	18	16
医学生(臨床実習)				
受入(人)	17	19	41	35
受入(人週)	34	26	60	53
医学生(早期地域医療体験実習)				
受入(人日)	-	4	3	3
医学生(夏季フィールドワーク)				
受入(人)	-	-	2	5
受入(人日)	-	-	2	5

4) いすみ医療センター

年度	令和3 (参考)	令和4	令和5	令和6
臨床研修医				
受入(人)	7	5	4	10
受入(人週)	28	18	19	50

医学生（臨床実習）				
受入（人）	0	1	10	11
受入（人週）	0	2	19	22
医学生（早期地域医療体験実習）				
受入（人日）	-	7	3	-
医学生（夏季フィールドワーク）				
受入（人）	-	-	-	-
受入（人日）	-	-	-	-

5) 宮本内科医院

年度	令和3 (参考)	令和4	令和5	令和6
臨床研修医				
受入（人）	-	-	-	-
受入（人週）	-	-	-	-
医学生（臨床実習）				
受入（人）	-	-	-	2
受入（人週）	-	-	-	6
医学生（早期地域医療体験実習）				
受入（日）	-	-	-	2
医学生（夏季フィールドワーク）				
受入（人）	-	-	-	1
受入（人日）	-	-	-	1

6) 君津中央病院大佐和分院

年度	令和3 (参考)	令和4	令和5	令和6
臨床研修医				
受入（人）	12	12	12	12
受入（人週）	12	12	12	12
医学生（臨床実習）				
受入（人）	-	-	-	3
受入（人週）	-	-	-	9
医学生（早期地域医療体験実習）				
受入（人日）	-	-	1	2
医学生（夏季フィールドワーク）				
受入（人）	-	-	-	2

受入（人日）	-	-	-	2
--------	---	---	---	---

7) 大多和医院

年度	令和3 (参考)	令和4	令和5	令和6
臨床研修医				
受入（人）	12	12	12	12
受入（人週）	48	48	48	48
医学生（臨床実習）				
受入（人）	-	-	-	4
受入（人週）	-	-	-	12
医学生（早期地域医療体験実習）				
受入（人日）	-	-	2	2
医学生（夏季フィールドワーク）				
受入（人）	-	-	2	5
受入（人日）	-	-	8	9

8) 季美の森リハビリテーション病院

年度	令和3 (参考)	令和4	令和5	令和6
臨床研修医				
受入（人）	-	-	-	-
受入（人週）	-	-	-	-
医学生（臨床実習）				
受入（人）	-	-	-	3
受入（人週）	-	-	-	9
医学生（早期地域医療体験実習）				
受入（人日）	-	-	2	1
医学生（夏季フィールドワーク）				
受入（人）	-	-	1	6
受入（人日）	-	-	1	6

9) 鴨川市立国保病院

年度	令和3 (参考)	令和4	令和5	令和6
臨床研修医				
受入（人）	3	8	11	14

受入（人週）	1 2	3 2	4 4	5 6
医学生（臨床実習）				
受入（人）	-	-	9	1 0
受入（人週）	-	-	9	1 2
医学生（早期地域医療体験実習）				
受入（人日）	-	-	2	2
医学生（夏季フィールドワーク）				
受入人数	-	-	6	1
受入人数（人日）	-	-	1 9	2
医学生（夏季実習）				
受入（人）	-	-	4	-
受入（人日）	-	-	1 2	-

1 0) 横芝光町立東陽病院

年度	令和3 (参考)	令和4	令和5	令和6
臨床研修医				
受入（人）	-	-	-	-
受入（人週）	-	-	-	-
医学生（臨床実習）				
受入（人）	-	-	-	2
受入（人週）	-	-	-	6
医学生（早期地域医療体験実習）				
受入（人日）	-	-	-	2
医学生（夏季フィールドワーク）				
受入（人）	-	-	-	-
受入（人日）	-	-	-	-
医学生（夏季実習）				
受入（人）	-	-	-	1 4
受入（人日）	-	-	-	8 4

1 1) 外房こどもクリニック

年度	令和3 (参考)	令和4	令和5	令和6
臨床研修医				
受入（人）	-	-	-	-
受入（人週）	-	-	-	-

医学生（臨床実習）				
受入（人）	-	-	-	2
受入（人週）	-	-	-	6
医学生（早期地域医療体験実習）				
受入（人日）	-	-	-	1
医学生（夏季フィールドワーク）				
受入（人）	-	-	-	3
受入（人日）	-	-	-	3

12) 長生病院

年度	令和3 (参考)	令和4	令和5	令和6
臨床研修医				
受入（人）	-	-	-	-
受入（人週）	-	-	-	-
医学生（臨床実習）				
受入（人）	-	-	-	3
受入（人週）	-	-	-	9
医学生（早期地域医療体験実習）				
受入（人日）	-	-	2	-
医学生（夏季フィールドワーク）				
受入（人）	-	-	-	-
受入（人日）	-	-	-	-

6. 千葉大学医学部地域枠入学志願者数の推移

令和2年度入学の学生を対象に、千葉大学医学部で一般選抜「千葉県地域枠入試」が開始された。入学年度別の志願者数および定員に対する倍率を図27に示す。なお、令和2年度と令和3年度は後期試験（定員5名）が行われていたが、令和4年度からは前期試験のみの運用となっている。

図27. 千葉大学医学部地域枠入学志願者数の推移（前期試験のみ）



7. その他

7-1. 早期地域体験実習を通じた地域病院アテンディングの教育に対する認識の変化 (フォーカス・グループ・インタビュー)

地域病院アテンディングとして地域医療教育に携わることで地域病院アテンディングならびに配置する医療機関でどのような変化が生じたのかをフォーカス・グループ・インタビューを用いて調査した。代表的な発言は以下のものが得られた。

「学生受け入れの先に地域医療が持続していくと感じ、現場スタッフの教育への熱量が上がった。時間と人を割いて投資していくべきだと思った。」

「学生を受け入れることで、スタッフが活気づき喜んでいた。変な姿は見せられないという良い緊張感が生まれた。」

「学生・研修医受け入れが、将来地域医療の現場で働いてくれる人を集めるいい循環を生む。学生がいるとカンファレンスの雰囲気よくなる。」

「学生を受け入れ始めた最初の1年は現場があたふたしたが、3年目では良いことの方が多くなった。現場、事務スタッフ、病院長も、より学生を受け入れていこうという姿勢になった。」

なお、フォーカス・グループ・インタビューの方法および結果は次の通りである。

日時: 令和5年12月14日(木) 15:00~16:00

場所: 千葉大学医学部 4F セミナー室 1、会議室 3

方法: フォーカス・グループ・インタビュー

対象: 8名

グループ	インタビュアー	インタビューー	オブザーバー	会場
A	山内	勝山、宮本、尾崎、山田	杉田	セミナー室 1
B	荒木、鋪野	青木、曾我井、森、村山	長谷部	会議室 3

7-2. 業績

本講座の活動による学術的成果について以下の通り発表を行った。

論文

英語 (査読あり)

1. Shikino K, Yamauchi K, Araki N, Shimizu I, Kasai H, Tsukamoto T, Tajima H, Li Y, Onodera M, Ito S. Understanding Community Health Care Through Problem-

- Based Learning With Real-Patient Videos: Single-Arm Pre-Post Mixed Methods Study. *JMIR Med Educ.* 2025;11:e68743.
2. Araki N, Shikino K, Yamauchi K, Ozaki N, Takahashi Z, Aoki S, Katsuyama Y, Sogai D, Miyamoto M, Murayama A, Mori T, Yamada S, Hasebe K, Sugita M, Ito S. Job stressors and buffer factors in community-oriented medical education: insights from community-attending physicians' experiences. *Rural and Remote Health.* 2025;25(1).
 3. Kasai H, Shikino K, Mohri S, Sato A, Yokoh H. Role-play-based coaching program for empowering clinical educators. *J Gen Fam Med.* 2024;26(1):108-109.
 4. Sogai D, Shikino K, Yamauchi K, Araki N, Katsuyama Y, Aoki S, Muroya Y, Miyamoto M, Kamata Y, Ito S. Influencing physician distribution through education: a qualitative study on retention in Japan's rural hospitals. *BMC Med Educ.* 2024;24(1):1147.
 5. Fujikawa H, Ando T, Endo A, Kaneko M, Shikino K, Nagamine Y, Nakayama T, Nishigori H, Yamanashi H, Haruta J. Competencies related to generalism for Japanese medical undergraduates: Essential skills for comprehensive care. *Med Teach.* 2024;46(sup1):S21-S30.
 6. Kasai H, Asahina M, Tajima H, Shikino K, Shimizu I, Onodera M, Kimura Y, Araki N, Tsukamoto T, Yoshida S, Yamauchi K, Ito S. Effectiveness of a report writing training program using peer review: evidence from first-year medical students. *BMC Med Educ.* 2024;24(1):1132.
 7. Nakamura A, Kasai H, Asahina M, Kamata Y, Shikino K, Shimizu I, Onodera M, Kimura Y, Tajima H, Yamauchi K, Ito S. Impact of group work on the hidden curriculum that induces students' unprofessional behavior toward faculty. *BMC Med Educ.* 2024;24(1):770.
 8. Kasai H, Saito G, Takeda K, Tajima H, Kawame C, Hayama N, Shikino K, Shimizu I, Yamauchi K, Asahina M, Suzuki T, Ito S. Effect of a workplace-based learning program on clerkship students' behaviors and attitudes toward evidence-based medicine practice. *Med Educ Online.* 2024;29(1):2357411.
 9. Shikino K, Tago M, Watari T, Sasaki Y, Takahashi H, Shimizu T. Educational strategies related to information science and technology for medical students: General medicine physicians' perspective. *J Gen Fam Med.* 2023;25(1):81-82.
 10. Shimizu I, Kasai H, Shikino K, Araki N, Takahashi Z, Onodera M, Kimura Y, Tsukamoto T, Yamauchi K, Asahina M, Ito S, Kawakami E. Developing Medical Education Curriculum Reform Strategies to Address the Impact of Generative AI: Qualitative Study. *JMIR Med Educ.* 2023;9:e53466.

- 1 1. Ishizuka K, Shikino K, Kasai H, Hoshina Y, Miura S, Tsukamoto T, Yamauchi K, Ito S, Ikusaka M. The influence of Gamification on medical students' diagnostic decision making and awareness of medical cost: a mixed-method study. *BMC Med Educ.* 2023;23(1):813.
- 1 2. Takaiso H, Maki H, Yoshino T, Shikino K. Impact of near-peer teaching on medical English learning motivation among medical students and residents. Hoshina Y, Limeisa, *J Gen Fam Med.* 2023;24(4):276-277.
- 1 3. Shikino K, Tago M, Hirata R, Watari T, Sasaki Y, Takahashi H, Shimizu T. Educational strategies for general medicine education in accordance with the model core curriculum for medical education in Japan. *J Gen Fam Med.* 2023;24(4):272-273.
- 1 4. Fukui S, Shikino K, Nishizaki Y, Shimizu T, Yamamoto Y, Kobayashi H, Tokuda Y. Association between regional quota program in medical schools and practical clinical competency based on General Medicine In-Training Examination score: a nationwide cross-sectional study of resident physicians in Japan. *Postgrad Med J.* 2023;99(1177):1197-1204.
- 1 5. Kozato A, Shikino K, Matsuyama Y, Hayashi M, Kondo S, Uchida S, Stanyon M, Ito S. A qualitative study examining the critical differences in the experience of and response to formative feedback by undergraduate medical students in Japan and the UK. *BMC Med Educ.* 2023;23(1):408.
- 1 6. Yanagita Y, Shikino K, Ishizuka K, Uchida S, Li Y, Yokokawa D, Tsukamoto T, Noda K, Uehara T, Ikusaka M. Improving decision accuracy using a clinical decision support system for medical students during history-taking: a randomized clinical trial. *BMC Med Educ.* 2023;23(1):383.
- 1 7. Tago M, Hirata R, Shikino K, Watari T, Yamashita S, Tokushima Y, Tokushima M, Aihara H, Katsuki NE, Yamashita SI. Clinical Clerkships in General Medicine Enable Students to Acquire Basic Medical Competencies and Experience in Community-Based Integrated Care: A Descriptive Questionnaire-Based Study. *Cureus.* 2023;15(3):e36495.
- 1 8. Shikino K, Tsukamoto T, Noda K, Ohira Y, Yokokawa D, Hirose Y, Sato E, Mito T, Ota T, Katsuyama Y, Uehara T, Ikusaka M. Do clinical interview transcripts generated by speech recognition software improve clinical reasoning performance in mock patient encounters? A prospective observational study. *BMC Med Educ.* 2023;23(1):272.
- 1 9. Kuriyama A, Kasai H, Shikino K, Shiko Y, Kawame C, Takeda K, Tajima H, Hayama N, Suzuki T, Ito S. The effects of simple graphical and mental visualization of lung sounds in teaching lung auscultation during clinical clerkship: A preliminary study. *PLoS One.* 2023;18(3):e0282337.

- 2 O. Shikino K, Tamura H, Yokokawa D, Yanagita Y, Uchida S, Yamauchi Y, Hayashi Y, Kojima J, Li Y, Sato E, Yamashita S, Hanazawa N, Tsukamoto T, Noda K, Uehara T, Ikusaka M. Hybrid PBL and Pure PBL: Which one is more effective in developing clinical reasoning skills for general medicine clerkship?-A mixed-method study. Ishizuka K, PLoS One. 2023;18(1):e0279554.
- 2 1. Takahara A, Shikino K. Disruptive innovation in Japanese medical education: Positive transformation to blended online and on-site clinical clerkship after coronavirus disease 2019. Educ Health (Abingdon). 2022;35(2):73-74.

日本語（査読なし）

1. 鋪野紀好、山内かつ代、荒木信之、伊藤彰一. 地域連携室教育の可能性 千葉大学地域医療教育講座の取り組みについて～地域医療の未来を担う人材育成とその可能性～. 病院経営羅針盤. 2025;271:11-17

学会発表

国際学会

1. Kiyoshi Shikino, Kazuyo Yamauchi, Nobuyuki Araki, Hajime Kasai, Misaki Onodera, Shoichi Ito. Enhancing Community-Oriented Perceptions in Medical Students through Problem-Based Learning with Real Patient Videos: A Mixed-Methods Study. The Association for Medical Education in Europe 2024. Short Communication. 2024年8月26日（スイス、バーゼル）
2. Kiyoshi Shikino, Kazuyo Yamauchi, Yu Kamata, Shinya Aoki, Yota Katsuyama, Daichi Sogai, Mai Miyamoto, Takeshi Oki, Kensuke Yoshimura, Shoichi Ito. Impact of mentoring by attending physicians and continuous faculty development on medical students' community healthcare perceptions: A qualitative study. The Association for Medical Education in Europe 2023. Short Communication. 2023年8月28日（スコットランド、グラスゴー）
3. Kiyoshi Shikino, Tomoko Tsukamoto, Syun Uchiba, Junpei Kojima, Yasutaka Yanagita, Masatomi Ikusaka. Online clinical clerkship as an alternative to face-to-face clinical practice: A mixed methods study. The Association for Medical Education in Europe 2023. Short Communication. 2022年8月31日（スコットランド、グラスゴー）

国内学会

1. 鋪野紀好、山内かつ代、荒木信之、清水郁夫、笠井大、塚本知子、田島寛之、李宇、伊藤彰一. 地域志向型 PBL が医学生への地域医療教育に与える影響：混合研究. 第56回日本医学教育学会大会. 一般口演. 2024年8月10日（東京）

2. 村山愛、鋪野紀好、山内かづ代、荒木信之、青木信也、勝山陽太、曾我井大地、宮本真衣、森徳郎、尾崎尚人、山田悟史、室屋洋平、長谷部圭亮、杉田昌昭、伊藤彰一. 地域病院アテンディングの参画による早期地域医療体験実習が医学生の地域医療の志向に及ぼす影響：混合研究. 第56回日本医学教育学会大会. 一般口演. 2024年8月9日（東京）
3. 荒木信之、鋪野紀好、山内かづ代、青木信也、勝山陽太、曾我井大地、森徳郎、尾崎尚人、山田悟史、伊藤彰一. 地域病院アテンディングによる夏季フィールドワークの医学生に与えた影響. 第56回日本医学教育学会大会. 一般口演. 2024年8月9日（東京）
4. 青木信也、鋪野紀好、山内かづ代、荒木信之、伊藤彰一. 臨床研修医が医師不足地域での地域医療研修を選択する要因：混合研究. 第56回日本医学教育学会大会. ポスター. 2024年8月9日（東京）
5. 山内かづ代、鋪野紀好、鎌田雄、荒木信之、伊藤彰一. 自治体と連携した地域実践型指導医養成プログラムは指導医の教育資質・能力にどう影響したか. 第55回日本医学教育学会大会. 特別シンポジウム. 2023年7月30日（長崎）
6. 鋪野紀好、山内かづ代、鎌田雄、勝山陽太、青木信也、曾我井大地、宮本真衣、吉村健佑、大木剛、伊藤彰一. 地域病院アテンディングの教育活動が医学生の地域医療に関する認識に与える影響：質的研究. 第55回日本医学教育学会大会. 一般口演. 2023年7月29日（長崎）
7. 曾我井大地、鋪野紀好、山内かづ代、勝山陽太、青木信也、室屋洋平、鎌田雄. 伊藤彰一. 医師少数区域の地域中核病院における医師定着要因は？総合診療専門医研修を通しての医師定着に関する質的研究. 第55回日本医学教育学会大会. ポスター. 2023年7月29日（長崎）
8. 荒木信之、鋪野紀好、笠井大、鎌田雄、木村康彦、高橋在也、横尾英孝、伊藤彰一. 修正 Delphi 法を用いた診療科教育専任医師に求められる資質・能力の開発. ポスター. 2023年7月29日（長崎）